

サーバ診断カルテ セットアップガイド (VMware ESXi編)

- 1章 概 要
- 2章 インストール
- 3章 アンインストール
- 4章 アップデート
- 5章 セットアップ
- 6章 付録




目 次

目 次	2
表 記	3
本文中の記号	3
外来語のカタカナ表記	3
オペレーティングシステムの表記	3
商 標	3
本書に関する注意と補足	5
最新版	5
1 章 概 要	6
1. はじめに	7
2. ユーザーサポート	11
3. 動作環境	12
管理サーバ	12
管理対象サーバ	13
2 章 インストール	14
1. インストール	15
インストール前準備	15
セットアッププログラムの起動	16
セットアッププログラムの実行	17
インストール状態の確認	20
3 章 アンインストール	22
1. NEC ログ集約通報サービス アンインストール	23
2. NEC ログ集約マネージャー アンインストール	26
4 章 アップデート	27
1. NEC ログ収集サービス(MG)からアップデート	28
2. NEC ログ集約マネージャーからアップデート	29
5 章 セットアップ	32
1. 管理対象サーバの登録とサーバ診断カルテの設定	33
ESMPRO/ServerManager への登録	33
対象ゲスト OS 収集タスクのユーザー認証情報登録	34
対象ホスト OS/ゲスト OS の認証情報登録	35
6 章 付 録	36
1. 注意事項	37
2. NEC ログ集約マネージャー 設定ファイル	38
3. NEC ログ集約通報サービス 管理コマンド	39
4. NEC ログ集約マネージャー 管理サーバユーザー登録コマンド	43
5. NEC ログ集約マネージャー 認証情報管理コマンド	46
6. 利用許諾について	49
7. ログ収集タイミングの変更について	50
8. インストール時のエラーの対処	54
エラーメッセージ一覧	54
NEC ログ集約通報サービスインストール時エラーコード一覧	54
エラー発生時の対処	54
9. NEC ログ集約マネージャーのログ・メッセージ一覧	55
メッセージ一覧	55

表 記

本文中の記号

本書では3種類の記号を使用しています。これらの記号は、次のような意味をもちます。

	ソフトウェアの操作などにおいて、守らなければならないことについて示しています。
	ソフトウェアの操作などにおいて、確認しておかなければならないことについて示しています。
	知っておくと役に立つ情報、便利なことについて示しています。

外来語のカタカナ表記

本書では外来語の長音表記に関して、国語審議会の報告を基に告示された内閣告示に原則準拠しています。ただし、OS やアプリケーションソフトウェアなどの記述では準拠していないことがあります。誤記ではありません。

オペレーティングシステムの表記

本書では、Windows オペレーティングシステムを次のように表記します。

本書の表記	Windows OSの名称
Windows Server 2025	Windows Server 2025 Standard
	Windows Server 2025 Datacenter
Windows Server 2022	Windows Server 2022 Standard
	Windows Server 2022 Datacenter
Windows Server 2019	Windows Server 2019 Standard
	Windows Server 2019 Datacenter
Windows Server 2016	Windows Server 2016 Standard
	Windows Server 2016 Datacenter
Windows 10	Windows 10 Pro 64-bit Edition
Windows 11	Windows 11 Pro 64-bit Edition

商 標

- EXPRESSBUILDER と ESMPRO、CLUSTERPRO は日本電気株式会社の登録商標です。
- Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-V は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、インテルは Intel Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ESXi は VMware 社の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

- その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。
なお、本文には登録商標や商標に(TM)、(R)マークは記載しておりません。

本書に関する注意と補足

1. 本書の一部または全部を無断転載することを禁じます。
2. 本書に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. 弊社の許可なく複製、改変することを禁じます。
4. 本書について誤記、記載漏れなどお気づきの点があった場合、お買い求めの販売店まで連絡してください。
5. 運用した結果の影響については、4項に関わらず弊社は一切責任を負いません。
6. 本書の説明で用いられているサンプル値は、すべて架空のものです。

この説明書は、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いてください。

最新版

本書は作成日時点の情報をもとに作られており、画面イメージ、メッセージ、または手順などが実際のものと異なることがあります。変更されているときは、適宜読み替えてください。

本書では、VMware ESXi を運用しているサーバの稼働状況を示すサーバ診断カルテのセットアップ方法について説明しています。

1. はじめに

2. ユーザーサポート

ソフトウェアに関する不明点、お問い合わせ先について説明しています。

3. 動作環境

サーバ診断カルテが動作する環境について説明しています。

1. はじめに

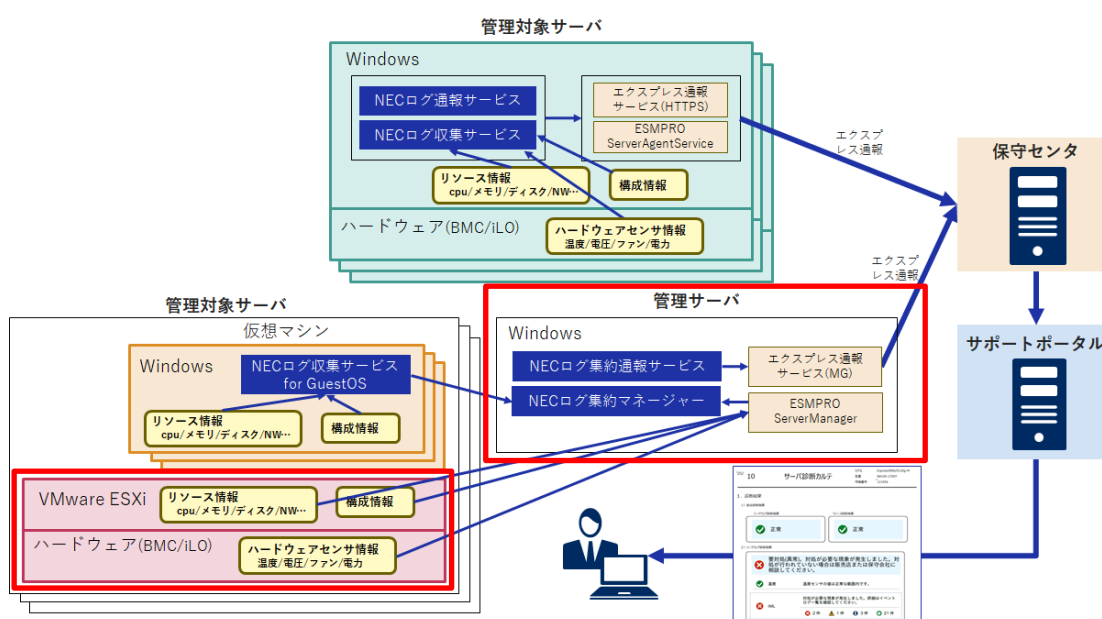
本書をよくお読みになり、正しくお使いください。

本書の内容は、OS の機能、操作方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。

OS に関する操作、不明点については、操作する OS のヘルプ オンラインなどをご確認ください。

サーバ診断カルテは、動作中のサーバの構成情報に加え、ハードウェアセンサー情報(温度/電圧/ファン/電力)、リソース情報(CPU/メモリ/ハードディスク/ネットワーク)を定期的に採取します。その後、エクスプレス通報サービスを用いて、保守センターに通報します。診断カルテによりシステムの稼働状況を可視化し、現状のIT資産の活用度の把握のほか、不具合があるパーツの買い替えや、適切なリソース増強時期などをスムーズに判断でき、より安定したシステム運用を可能にします。

本書は下図、下表の赤枠部分についてのドキュメントです。



	OS 種別	インストールコンポーネント	備考
管理対象サーバ	Windows	NECログ収集サービス	・NECログ通報サービスも同時にインストールされます ・管理サーバは不要です ・「サーバ診断カルテ セットアップガイド (Windows編)」を参照してセットアップしてください
	ESXi	なし	・ESXiを管理対象にするには、 管理サーバが必要です
	Windows(仮想マシン)	NECログ収集サービス for GuestOS	・ESXi上の仮想マシンを管理対象にするには、 管理サーバが必要です ・「サーバ診断カルテ セットアップガイド (VMware ESXi編)」、「サーバ診断カルテ セットアップガイド(GuestOS編)」を参照してセットアップしてください。 ※Hyper-Vの仮想マシンには未対応です
管理サーバ	Windows Windows(仮想マシン)	NECログ集約マネージャー	・ESXi、およびESXi上の仮想マシンを管理対象とする場合に必要です ・NECログ集約通報サービスも同時にインストールされます ・「サーバ診断カルテ セットアップガイド (VMware ESXi編)」、「サーバ診断カルテ セットアップガイド(GuestOS編)」を参照してセットアップしてください。

管理サーバをカルテの対象とする場合は、管理サーバにNECログ収集サービスをインストールしてください。
管理サーバ(仮想マシン)をカルテの対象とする場合は、管理サーバ(仮想マシン)にNECログ収集サービス for GuestOSをインストールし、管理対象サーバとして登録してください。

サーバ診断カルテのログを保守センターへ送信するためには、エクスプレス通報サービス(MG)による通報が有効であることが必要です。無効の場合はログを送信しません。エクスプレス通報サービス(MG)のご契約の詳細については、以下の Web をご確認ください。

NEC ビジネスPC/PC サーバ お客様登録

<https://acc.express.nec.co.jp/Main/main.asp>

NEC エクスプレス通報サービス ご利用の手引き

<https://acc.express.nec.co.jp/notice/man/guide.htm>

エクスプレス通報サービス(MG)は最新版を使用することを推奨します。エクスプレス通報サービス(MG)の設定方法は EXPRESSBUILDER DVD や Starter Pack に格納、または Web に公開しているドキュメントを参照してください。



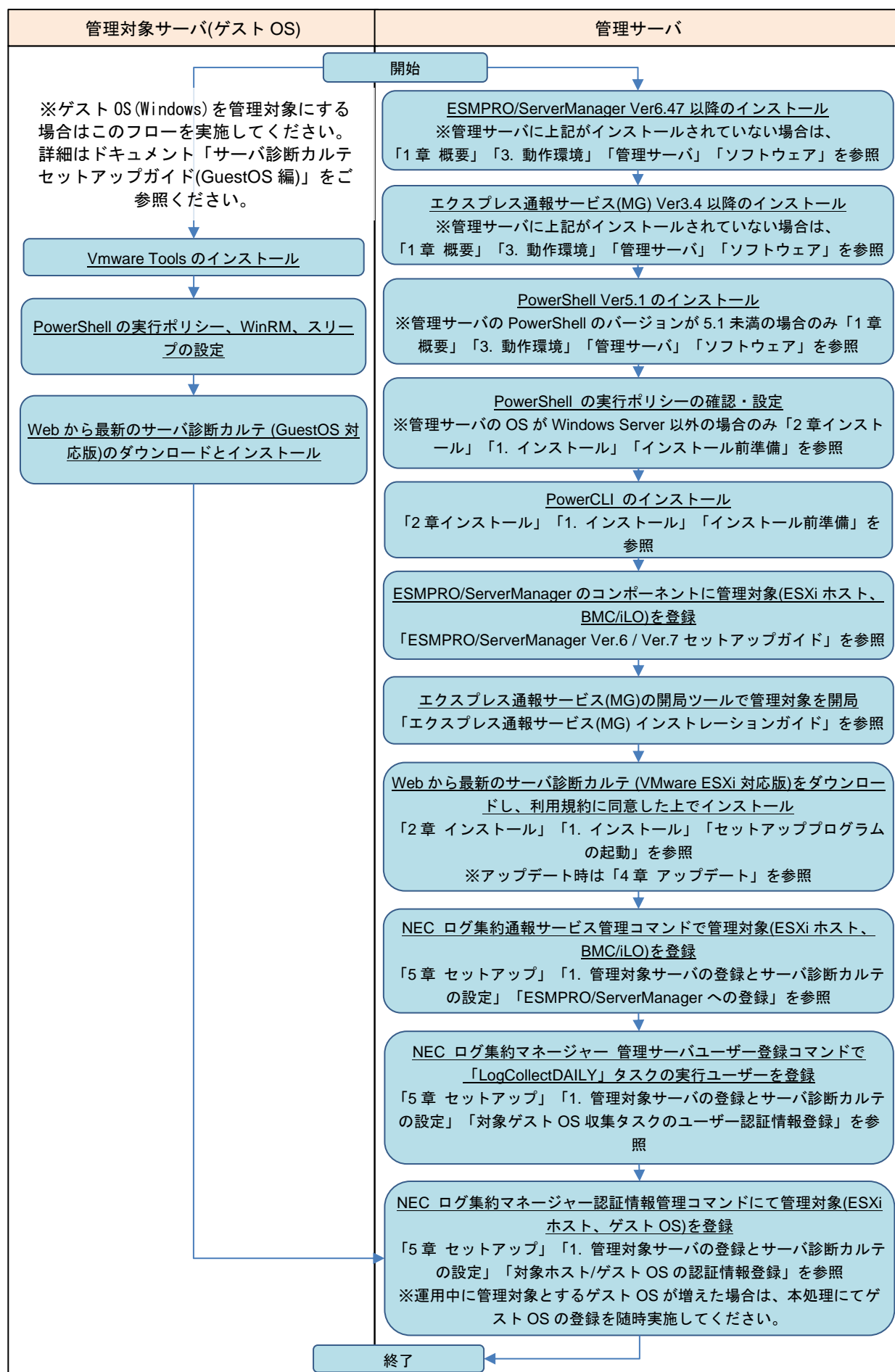
サーバ診断カルテのログ収集では、管理対象サーバの台数が多い場合、通報完了までに時間を要することがあります。そのため、NEC ログ集約通報サービスの管理コマンドにて、次回の通報予定時刻を確認していただき、当該時刻直後の 30 分間程度はシャットダウンしない運用を推奨します。

次回の通報予定時刻は以下のコマンドで確認できます。

実行例) `miotmgst.exe /q *`

管理コマンドの詳細は付録の「3. NEC ログ集約通報サービス 管理コマンド」に記載しておりますので、ご確認ください。

サーバ診断カルテを作成するための作業の流れは、下図となります。



図中のドキュメント「ESMPRO/ServerManager Ver. 6 / Ver.7 インストレーションガイド (Windows 編)」、「ESMPRO/ServerManager Ver.6 / Ver.7 セットアップガイド」は以下のサイトを参照してください。

ESMPRO/ServerManager Ver.6

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010103524>

ESMPRO/ServerManager Ver.7

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010110069>

図中のドキュメント「エクスプレス通報サービス(MG) インストレーションガイド」は以下のサイトを参照してください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124>

2. ユーザーサポート

ソフトウェアに関する不明点は、お買い上げの弊社販売店、最寄りの弊社、または以下メールアドレスまでお願いします。

- サーバ診断カルテサービスのお申し込みおよびサーバの設定に関するお問い合わせ先

karute-uketuke@express.jp.nec.com

- サーバ診断カルテの内容・参照方法に関するお問い合わせ先

karute-tech@express.jp.nec.com

3. 動作環境

サーバ診断カルテが動作するハードウェア/ソフトウェア環境は、次のとおりです。

管理サーバ

- ハードウェア

対象機器については本ガイドをダウンロードしたサイトの「対象機器」をご覧ください。

- CPU

Xeon シリーズ 2.8Ghz(スレッド数 12)以上、または同等クラスの互換プロセッサ(CPU)を推奨

- メモリ

4.0GB 以上

- ハードディスクドライブの空き容量

10.0GB 以上（収集したログを保存する領域を含めます）



メモリ、ハードディスクドライブの容量については OS や関連ソフトウェアで使用する容量を除いた記載をしております。システム全体で必要となる容量については、別途各ソフトウェアの情報をご確認ください。

- ソフトウェア

- 動作対象 OS

動作対象 OS については本ガイドをダウンロードしたサイトの「対象機器」の「管理サーバ」をご覧ください。

- ESMPRO/ServerManager Ver6.47 以降

ESMPRO/ServerManager のインストール、および、モジュールのダウンロードについては以下サイトの情報を参照してください。公開している最新版を適用し、常に最新の状態に保つことを推奨します。

<https://jpn.nec.com/esmsm/>



VMware ESXi 8.0 を使用する場合、ESMPRO/ServerManager のサイトから VMware ESXi 8.0 に対応したバージョンを確認してください。

- エクスプレス通報サービス(MG) Ver3.4 以降

エクスプレス通報サービス(MG)は、以下の NEC サポートポータルで公開している最新版を適用し、常に最新の状態に保つことを推奨します。

インストール手順はインストレーションガイドを参照してください。

<https://www.support.nec.co.jp/View.aspx?id=9010102124>

- Microsoft Windows PowerShell Ver5.1

Microsoft Windows PowerShell のバージョンを確認し、5.1 未満の場合は、以下の Microsoft のサイトで公開されている「Windows Management Framework 5.1」をダウンロードしてインス

トールしてください。インストール手順は以下の Microsoft のサイトを参照してください。

<https://docs.microsoft.com/ja-jp/powershell/scripting/windows-powershell/wmf/setup/install-configure?view=powershell-5.1>



PowerShell Core の PowerShell 6.0 以降には対応していません。

- VMware PowerCLI

ご利用の対象ホスト OS (VMware ESXi) に対応した VMware PowerCLI を PowerShell 上でインストールをするか、VMware 社のサイトで公開されているモジュールをダウンロードしてインストールしてください。インストール手順は「インストール前準備 PowerCLI のインストール」を参照してください。

管理対象サーバ

- ハードウェア、対象ホスト OS、対象ゲスト OS

対象機器、対象 OS については本ガイドをダウンロードしたサイトの「対象機器」の「管理対象サーバ」をご覧ください。

インストール

サーバ診断カルテの NEC ログ集約マネージャー/NEC ログ集約通報サービスのインストールについて説明します。

1. インストール

インストール手順について説明しています。

1. インストール

サーバ診断カルテでは、NEC ログ集約マネージャーのインストール時に NEC ログ集約通報サービスも同時にインストールされます。

インストール前準備

1. 管理サーバの OS が Windows Server 以外の場合に管理サーバにて以下の設定を実施してください。

【PowerShell スクリプトの実行ポリシー設定】

1. PowerShell を管理者権限で起動してください。
2. 以下のコマンドを実施し、PowerShell スクリプトの実行ポリシーを確認してください。

```
PS> Get-ExecutionPolicy
```
3. 実行ポリシーが「RemoteSigned」以外の場合は、以下のコマンドを実行して「RemoteSigned」に変更してください。

```
PS> Set-ExecutionPolicy RemoteSigned
```

【スリープ設定】

1. [スタート] → [設定] → [システム] → [電源とスリープ]の画面を開きスリープの時間を「なし」に設定してください。



スリープ状態ではログ収集処理が動作しないため、ログが取得できません。
ご利用の OS により設定箇所が異なる場合がございます。ご利用の OS のマニュアルをご確認ください。

2. 管理サーバのインターネット接続環境を確認し、PowerCLI のインストールを実施してください。



・ PowerCLI が Hyper-V 管理機能と競合するため、Hyper-V と共存はできません。
・ コマンドの詳細は VMware の「PowerCLI Installation Guide」および「PowerCLI Users Guide」をご参照ください。

【管理サーバがインターネット接続あり】

1. PowerShell を管理者権限で起動してください。
2. 以下のコマンドを実行し、インストールを開始してください。

```
PS> Install-Module -Name VMware.PowerCLI
```
3. インストールが正常に行われている場合、以下のコマンドを実行するとバージョンが表示されます。

```
PS> Get-Module -Name VMware.PowerCLI -ListAvailable
```

【管理サーバがインターネット接続なし】

1. VMware 社のサイトで公開されているモジュールをダウンロードし、管理サーバの任意の場所に格

納し解凍してください。

2. PowerShell を管理者権限で起動してください。
3. 以下のコマンド実行し、PowerShell のパスを表示し、「C:¥Program Files¥WindowsPowerShell¥Modules」が存在することを確認してください。

```
PS>$ENV:PSModulePath  
C:¥Users¥Administrator¥Documents¥WindowsPowerShell¥Modules;C:¥Program Files¥WindowsPowerShell¥Modules;C:¥Windows¥system32¥WindowsPowerShell¥v1.0¥Modules
```
4. 1.で解凍したフォルダー群(VMware.*)をすべて「C:¥Program Files¥WindowsPowerShell¥Modules」に格納してください。
5. 以下のコマンドを実行して Windows のファイルブロックを解除してください。

```
PS> Get-ChildItem -Path 'C:¥Program Files¥WindowsPowerShell¥Modules¥VMware*' -Recurse | Unblock-File
```
6. インストールが正常に行われている場合、以下のコマンドを実行するとバージョンが表示されます。

```
PS> Get-Module -Name VMware.PowerCLI -ListAvailable
```

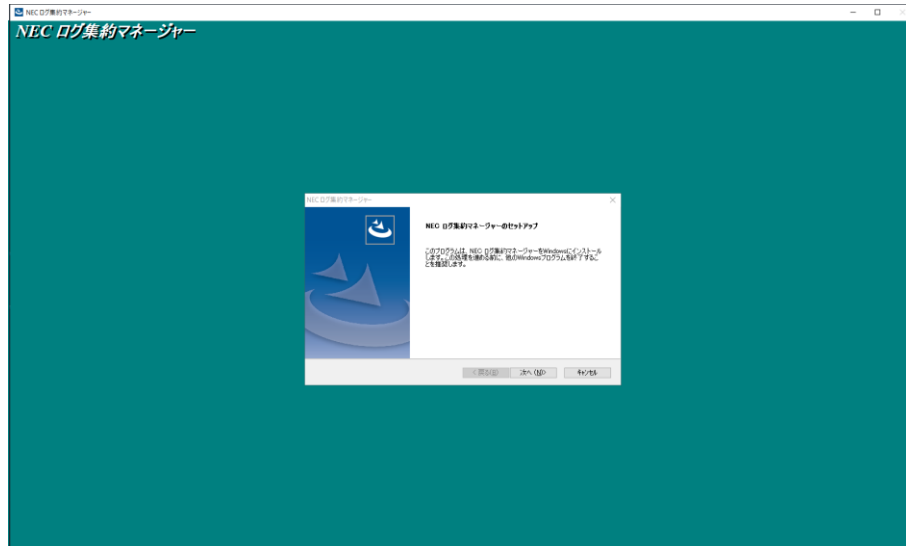
セットアッププログラムの起動

1. ビルトイン Administrator(または管理者権限のあるアカウント)で、サインイン (ログイン)します。
2. Web 公開されているセットアッププログラムをダウンロードして解凍します。
ダウンロードした MIoT_Collect_MG_xxx.zip(xxx はバージョン)を任意のフォルダーに格納し、解凍してください。
3. MIoT_Collect_MG_xxx.zip(xxx はバージョン)のセットアッププログラム「SETUP.EXE」をダブルクリックします。
NEC ログ集約マネージャーのセットアップウィンドウが起動します。

セットアッププログラムの実行

セットアッププログラムのウィンドウに従って、インストールしてください。

1. 起動ウィンドウの[次へ]をクリックします。



2. サーバ診断カルテの利用許諾について選択します。

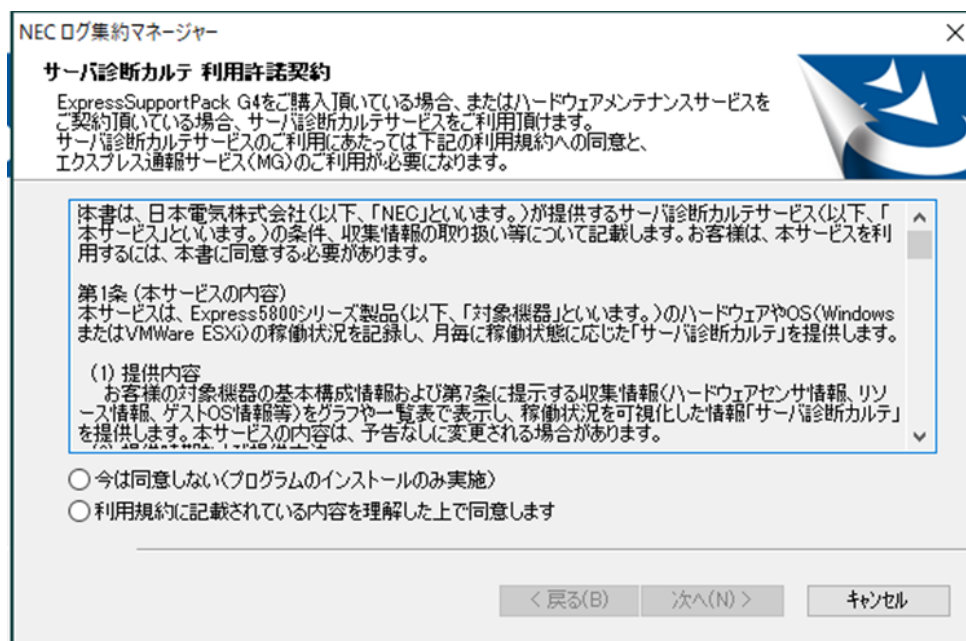
ラジオボタンで選択して「次へ」をクリックします。

「利用規約に記載されている内容を理解した上で同意します」を選択した場合は、プログラムのインストール後にサーバ診断カルテの作成に必要なログの収集を開始します。また、エクスプレス通報サービス(MG)の開局が行われている場合、週に1度、収集したログの通報を行います。ログの収集日時を変更するには付録の「ログ収集タイミングの変更について」を参照してください。

「今は同意しない（プログラムのインストールのみ実施）」を選択した場合は、プログラムのインストールのみを行います。

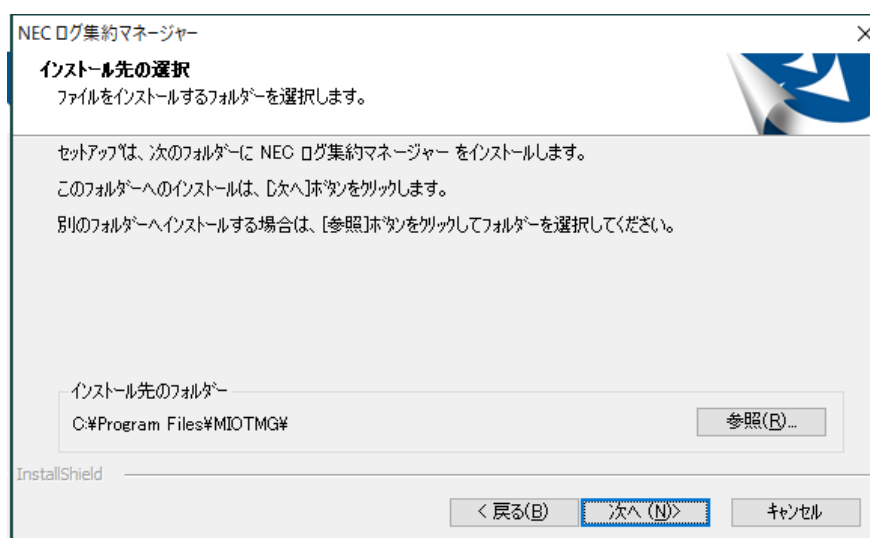
この場合、サーバ診断カルテの作成に必要なログの収集や通報は行いません。

インストールの後に有効にしたい場合は、サーバ診断カルテの利用許諾プログラムから利用規約に同意する必要があります。手順は付録の「利用許諾について」を参照してください。



3. インストール先を選択します。

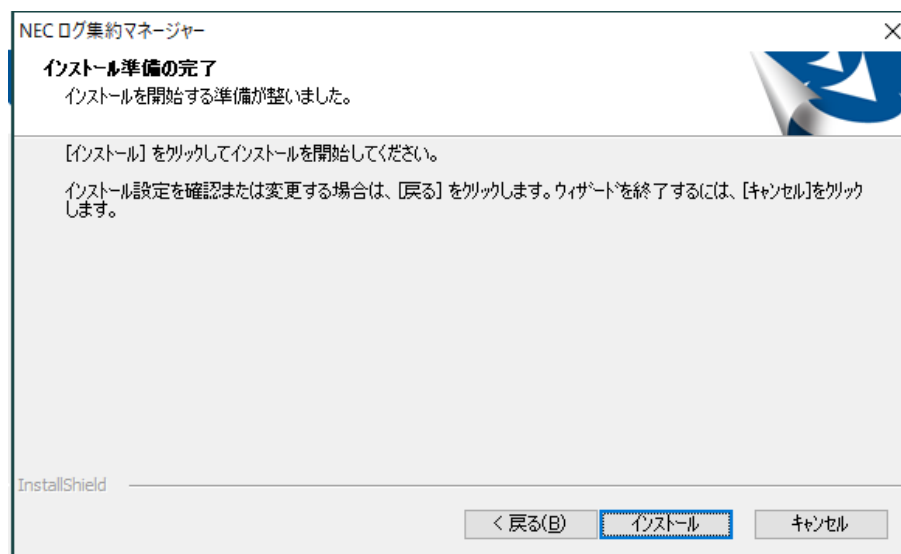
デフォルトのインストールフォルダーから変更する場合は「参照」をクリックします。フォルダーの選択後に「次へ」をクリックします。



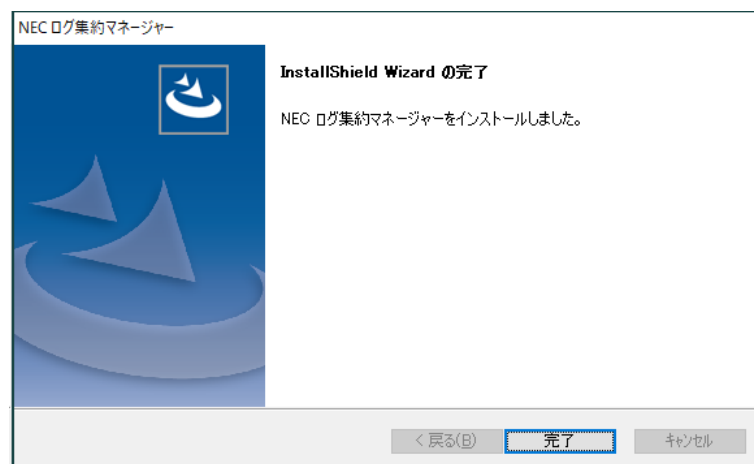
※インストールフォルダー配下に、動作中のサーバの情報を採取します。

動作環境に記載のハードディスクの空き容量のあるフォルダーを指定してください。

4. インストールを開始します。
「インストール」をクリックします。



5. NEC ログ集約マネージャーのインストール完了
「完了」をクリックします。

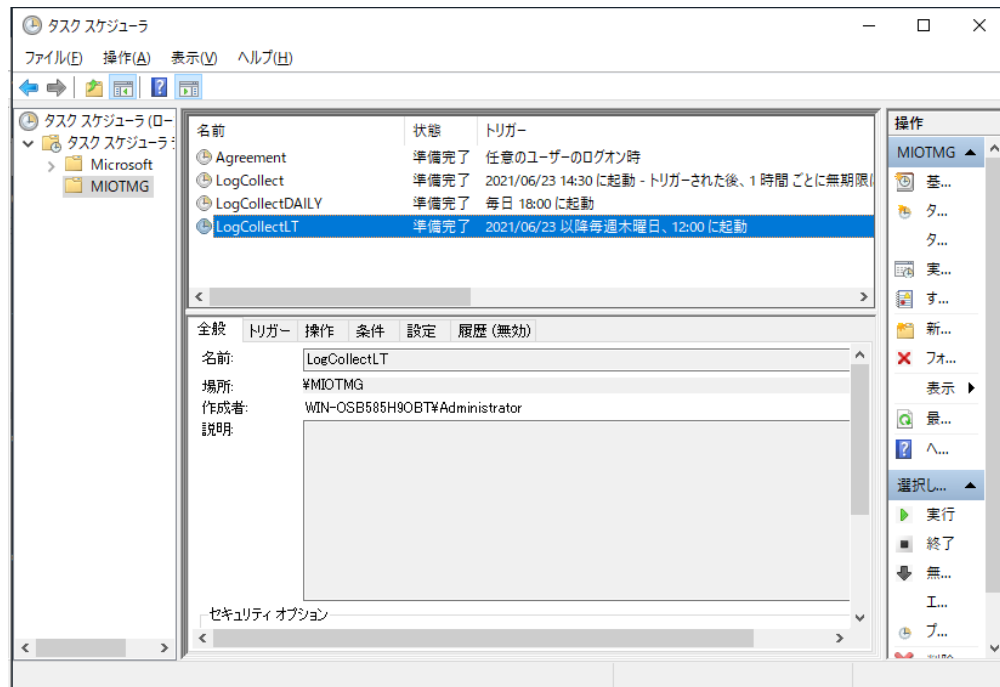


以上でインストールは終了です。

インストール状態の確認

NEC ログ集約マネージャーがインストールされているか確認するには、以下の手順に従ってください。

1. スタートメニュー⇒Windows 管理ツールを開きます。
2. タスクスケジューラを起動しタスクスケジューラライブラリを開きます。
3. MIOTMG フォルダーを選択し、LogCollect、LogCollectLT、LogCollectDAILY および Agreement タスクが表示され、状態が「準備完了」となっていることを確認します。



サーバの構成情報を収集する LogCollectLT は、毎週木曜日の 12:00 に起動するように設定されています。

システム負荷の観点などから、本設定で問題がある場合は、起動曜日、時刻の変更が行えます。手順は付録の「ログ収集タイミングの変更について」を参照してください。

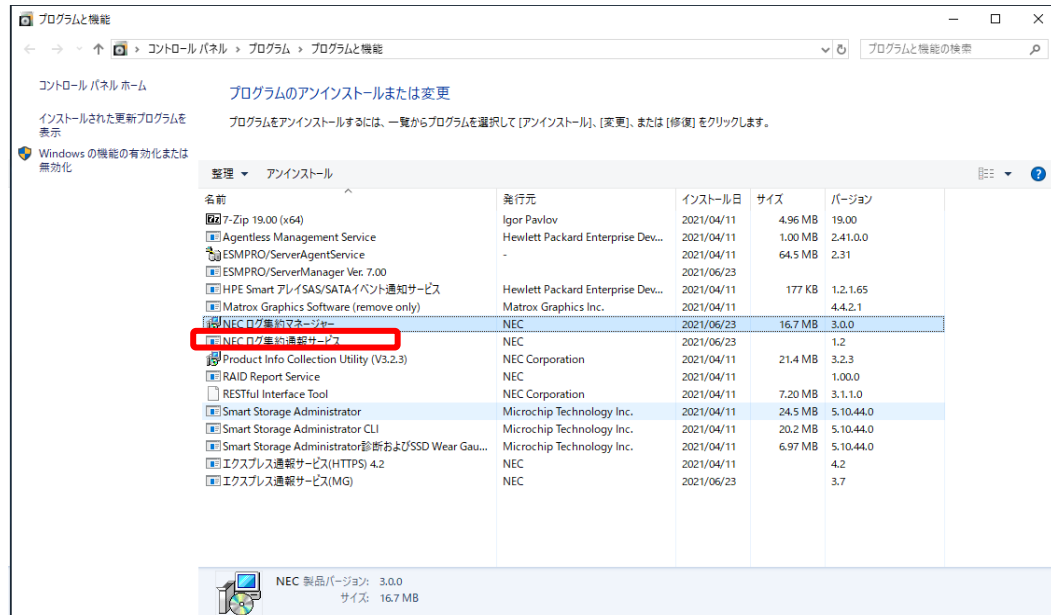


ゲスト OS の情報を収集する LogCollectDAILY は、毎日 18:00 に起動するように設定されています。

システム負荷の観点などから、本設定で問題がある場合は、起動時刻の変更が行えます。手順は付録の「ログ収集タイミングの変更について」を参照してください。

NEC ログ集約通報サービスがインストールされているか確認するには、以下の手順に従ってください。

1. コントロールパネルの「プログラムと機能」をクリックします。
2. 「プログラムと機能」に「NEC ログ集約通報サービス」が表示されている事を確認します。



アンインストール

サーバ診断カルテのアンインストールについて説明します。

1. NEC ログ集約通報サービスアンインストール

NEC ログ集約通報サービスのアンインストール手順について説明しています。

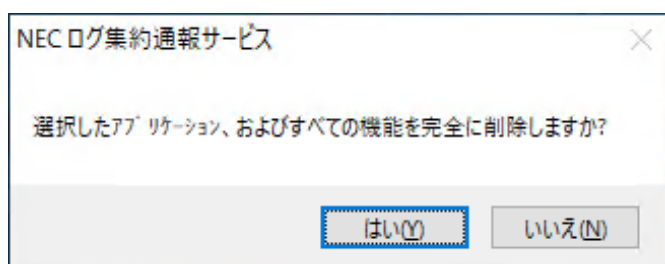
2. NEC ログ集約マネージャーアンインストール

NEC ログ集約マネージャーのアンインストール手順について説明しています。

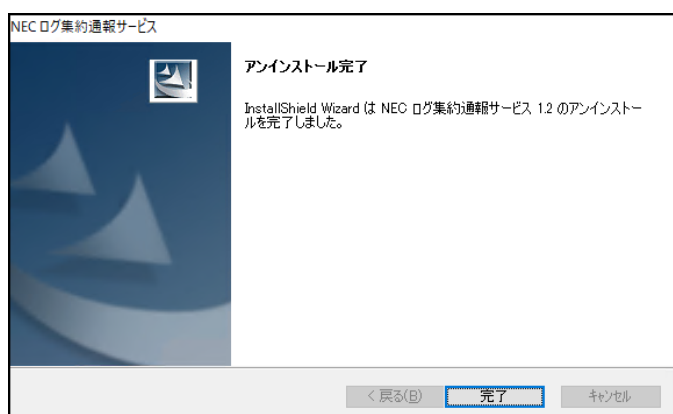
1. NEC ログ集約通報サービス アンインストール

NEC ログ集約通報サービスをアンインストールする手順を説明します。
Administrator ユーザーでログインして、実施してください。

1. 「コントロールパネル」の[プログラムと機能]をクリックします。
2. NEC ログ集約通報サービスを選択して[アンインストール]をクリックします。
3. 削除の実行を確認するウィンドウで、[はい]をクリックします。



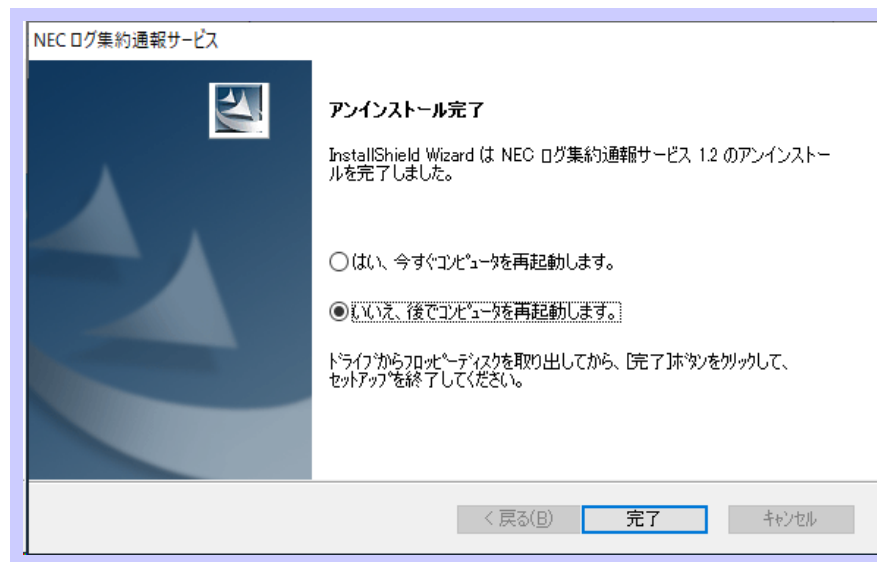
4. 終了のウィンドウが表示されたあと、[完了]をクリックします。



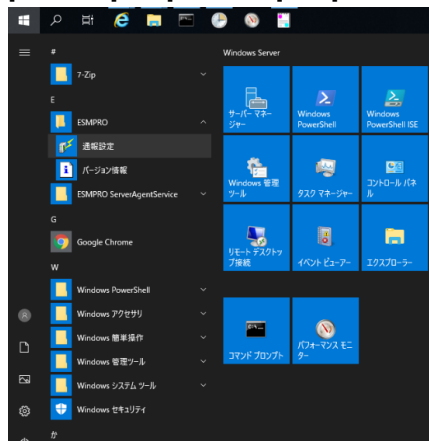
OS の再起動は不要です。



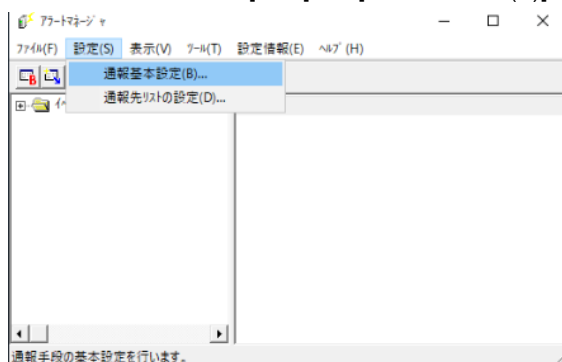
アンインストール完了のウィンドウで OS の再起動を示すメッセージが表示された場合でも OS の再起動は不要です。
「いいえ、後でコンピュータを再起動します。」を選択し完了をクリックしてください。



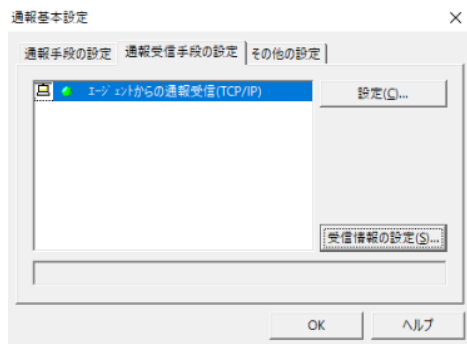
5. 続いて、エクスプレス通報サービス(MG)の「NEC ログ集約通報サービス」の登録情報を削除します。
[スタート] → [ESMPRO] → [通報設定]をクリックします。アラートマネージャが起動します。



6. アラートマネージャの[設定] → [通報基本設定(B)]をクリックします。



7. 通報基本設定の[通報手段の設定]タブの[エージェントからの通報受信(TCP/IP)]を選択し、[受信情報の設定]をクリックします。



8. 受信情報の設定の[受信情報の登録状況]の[NEC Log Aggregation Reporting Service]を選択し、[削除]をクリックします。



以上で、NEC ログ集約通報サービスのアンインストールは完了です。

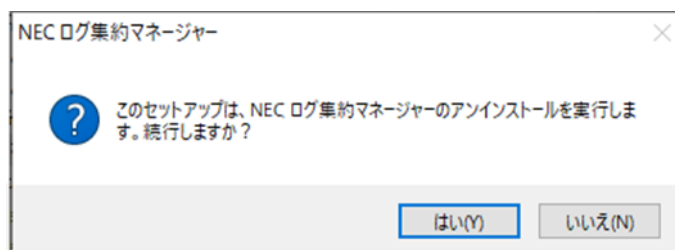
2. NEC ログ集約マネージャー アンインストール

NEC ログ集約マネージャーをアンインストールする手順を説明します。

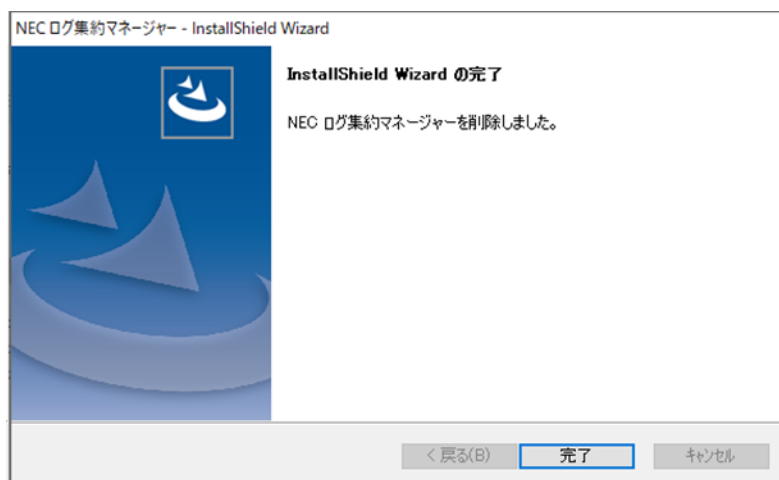
事前に NEC ログ集約通報サービスのアンインストールを実施してください。

Administrator ユーザーでログインして、実施してください。

1. 「コントロールパネル」の[プログラムと機能]をダブルクリックします。
2. NEC ログ集約マネージャーを選択して[アンインストール]をクリックします。
3. 削除の実行を確認するウィンドウで、[はい]をクリックします。



4. 終了のウィンドウが表示されたあと、[完了]をクリックします。



OS の再起動不要です。



アンインストール後にインストールディレクトリにファイルが残る場合があります。
システムの再起動後に削除できます。

以上でアンインストールは終了です。

アップデート

サーバ診断カルテのアップデートインストールについて説明します。



- ・ NEC ログ集約マネージャーと NEC ログ収集サービス for GuestOS はともに最新のバージョンを使用してください。
- ・ アップデートは NEC ログ集約マネージャー、NEC ログ収集サービス for GuestOS の順で実施してください。

1. NEC ログ収集サービス(MG)からアップデート

NEC ログ収集サービス(MG)をインストールしている場合のアップデートインストール手順について説明しています。



NEC ログ収集サービス(MG)は NEC ログ集約マネージャーの旧名称です。
Ver3.0.0 から NEC ログ集約マネージャーに名称を変更しました。

2. NEC ログ集約マネージャーからアップデート

NEC ログ集約マネージャーをインストールしている場合のアップデートインストール手順について説明しています。

1. NEC ログ収集サービス(MG)からアップデート

サーバ診断カルテでは、NEC ログ収集サービス(MG)からのアップデートを行う場合、NEC ログ収集サービス(MG)をいったんアンインストールした後に、NEC ログ集約マネージャーのセットアッププログラムを用いて再度インストールを行う必要があります。アップデートを行う手順を説明します。

Administrator ユーザーでログインして、実施してください。



サーバ診断カルテの動作に必要なソフトウェアのインストール作業が必要になる場合がございます。

「1章 概要」の「1.はじめに」に記載されている、「サーバ診断カルテを作成するための作業の流れ」の図を確認し、適宜実施してください。

1. 「NEC ログ集約通報サービス アンインストール」を参照して、「NEC ログ集約通報サービス」を「NEC ログ通報サービス(MG)」に読み替えてアンインストールを実施してください。
2. 「NEC ログ集約マネージャー アンインストール」を参照して、「NEC ログ集約マネージャー」をNEC ログ収集サービス(MG)に読み替えてアンインストールを実施してください。



NEC ログ収集サービス(MG)の設定ファイルを変更している場合は、アンインストールを行う前に、設定ファイルを任意のフォルダーに保存してください。

設定ファイルはインストールフォルダーの watch.conf です。



NEC ログ収集サービス(MG)ではインストールフォルダーの curr フォルダーに採取した情報が格納されます。アンインストール後に curr フォルダーにファイルが残っている場合は、curr フォルダーは削除しないでください。

3. 「セットアッププログラムの実行」を参照してインストールを行います。



NEC ログ収集サービス(MG)をインストールしていたインストールフォルダーをインストール先に指定してください。



NEC ログ収集サービス(MG)の設定ファイルを変更している場合は、変更部分をインストールフォルダーの watch.conf に書き込んでください。

4. 「1章 概要」の「1.はじめに」に記載されている、「サーバ診断カルテを作成するための作業の流れ」の図の「NEC ログ集約通報サービス管理コマンドで管理対象(ESXi ホスト、BMC/iLO)を登録」以降を実施してください。

2. NEC ログ集約マネージャーからアップデート

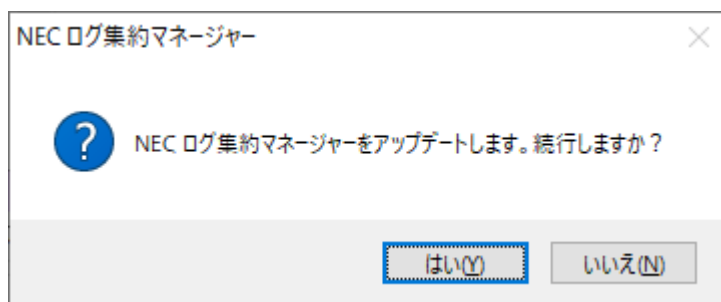
サーバ診断カルテでは、NEC ログ集約マネージャーからのアップデートを行う場合、NEC ログ集約マネージャーをインストールした状態で、NEC ログ集約マネージャーのセットアッププログラムを用いてアップデートを行います。アップデートを行う手順を説明します。



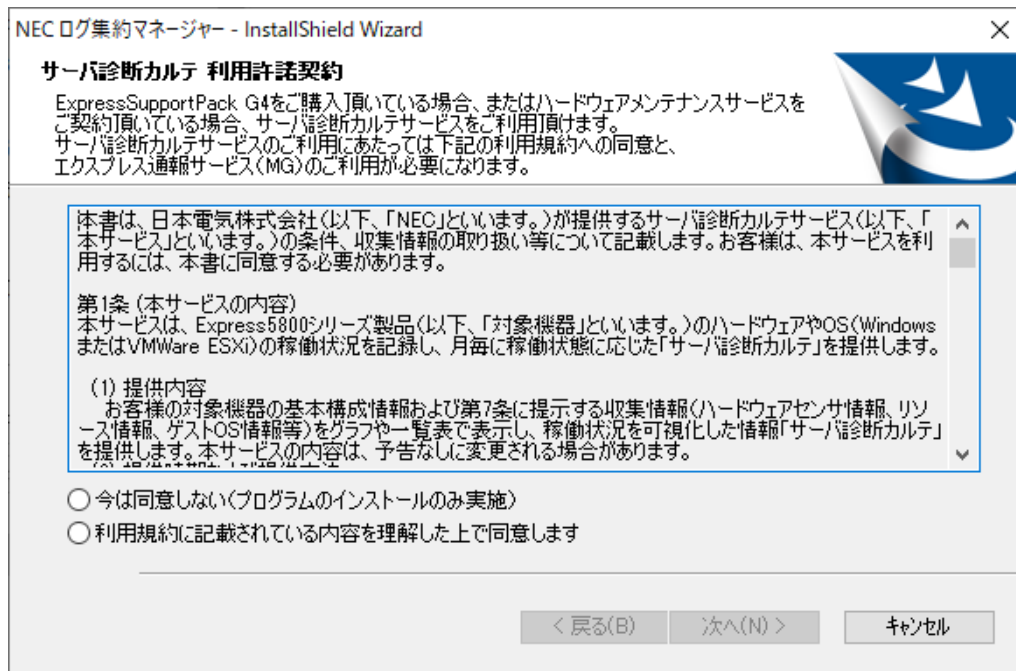
バージョン更新に伴い、サーバ診断カルテの動作に必要なソフトウェアのインストール作業が必要になる場合がございます。

「1章 概要」の「1.はじめに」に記載されている、「サーバ診断カルテを作成するための作業の流れ」の図を確認し、アップデート前に実施すべき項目があれば、適宜実施してください。

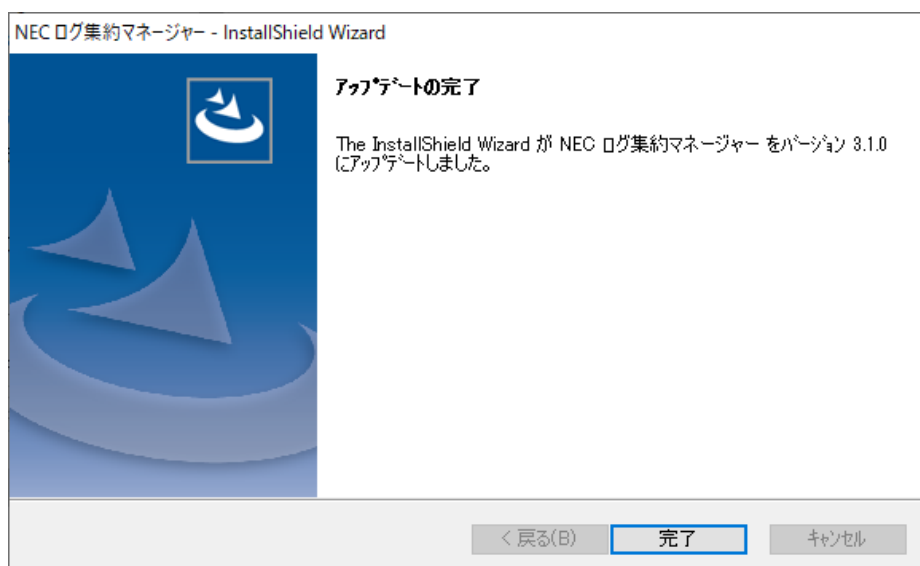
1. 「Web 公開物件からセットアッププログラムを起動する方法」を参照して、実施してください。
2. 確認ウィンドウの[はい]をクリックします。



3. サーバ診断カルテの利用許諾について選択します。
ラジオボタンで選択して「次へ」をクリックします。
「利用規約に記載されている内容を理解した上で同意します」を選択した場合は、プログラムのアップデート後にサーバ診断カルテの作成に必要なログの収集を開始します。また、エクスプレス通報サービス(MG)の開局が行われている場合、週に1度、収集したログの通報を行います。ログの収集日時を変更するには「6章 付録」の「7.ログ収集タイミングの変更について」を参照してください。
「今は同意しない（プログラムのインストールのみ実施）」を選択した場合は、プログラムのアップデートのみを行います。
この場合、サーバ診断カルテの作成に必要なログの収集や通報は行いません。
インストールの後に有効にしたい場合は、サーバ診断カルテの利用許諾プログラムから利用規約に同意する必要があります。手順は「6章 付録」の「6.利用許諾について」を参照してください。



4. 終了のウィンドウが表示されたあと、[完了]をクリックします。

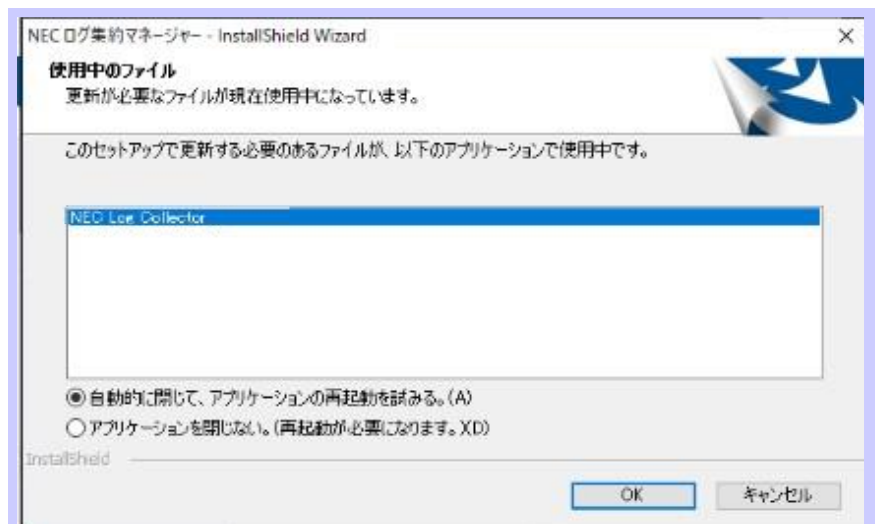


NEC ログ集約マネージャーの設定ファイルや管理対象の IP アドレス等の登録した情報は引き継がれますので、アップデート後はそのままお使いいただけます。

ただし、設定ファイルは項目の追加や規定値変更等が発生する場合がございますので、「6 章付録」の「2.NEC ログ集約マネージャー 設定ファイル」確認し環境に合わせて適宜、修正してください。



アップデートを実行した時に、収集プログラムが実行中であった場合、以下のダイアログが表示されることがあります。



「自動的に閉じて、アプリケーションの再起動を試みる。」と「アプリケーションを閉じない。(再起動が必要になります。)」のどちらを選択しても「OK」押下後、正しくアップデートが実行されます。「キャンセル」を選択した場合、アップデートを行わずに終了します。その際にタスクの再登録が必要となりますので、インストールフォルダー内の Add_Scheduler_MIoT.bat を実行してタスクスケジューラへのタスクの登録を実施してください。タスクの実行タイミングは、「6章 付録」の「7.ログ収集タイミングの変更について」を参照し、環境に合わせて適宜変更してください。

サーバ診断カルテ

5

セットアップ

サーバ診断カルテの管理対象サーバの設定について説明します。

1. 管理対象サーバの登録とサーバ診断カルテの設定

管理対象サーバでサーバ診断カルテの設定を行う手順について説明しています。

1. 管理対象サーバの登録とサーバ診断カルテの設定

サーバ診断カルテを使用するために、管理サーバで ESMPRO/ServerManager への管理対象サーバの登録と NEC ログ集約通報サービス管理コマンドを使用した設定が必要になります。

ESMPRO/ServerManager への登録

1. ESMPRO/ServerManager Ver.6 / Ver.7 セットアップガイドを参照して、管理対象サーバの以下をそれぞれコンポーネントとして登録します。
 - ・ VMware ESXi
 - ・ BMC(EXPRESSSCOPE エンジン 3)/iLO/BMC(その他)
2. NEC ログ集約通報サービス管理コマンドを使用し、ESMPRO/ServerManager に登録したコンポーネントの IP アドレスをサーバ診断カルテの対象に追加します。

例)

登録する管理対象サーバの情報を以下として例を記載します。

ESXi の IP アドレス : 192.168.0.10

BMC/iLO の IP アドレス : 192.168.0.20

- ① 管理サーバにてコマンドプロンプトを管理者権限で起動し、「インストールフォルダー ¥tool」に移動



インストールフォルダーは、デフォルトから変更していない場合、「C:¥Program Files¥MIOTMG」 となります。

- ② ESXi と BMC/iLO の IP アドレスを登録

```
tool > miotmgst.exe /add 192.168.0.10
```

Add servers:

192.168.0.10 : succeed.

```
tool > miotmgst.exe /add 192.168.0.20
```

Add servers:

192.168.0.20 : succeed.

- ③ 登録確認

```
tool > miotmgst.exe /l
```

Target Servers:

192.168.0.10

192.168.0.20



NEC ログ集約通報サービス管理コマンドの詳細は付録の「NEC ログ集約通報サービス管理コマンド」を参照してください。

対象ゲスト OS 収集タスクのユーザー認証情報登録

1. 対象ゲスト OS のリソース情報/SW 構成情報を収集する場合、NEC ログ集約マネージャーの管理サーバユーザー登録コマンドを使用し、管理サーバのアドミニストレータ権限のユーザー登録（ユーザー名、パスワード）が必要です。（対象ゲスト OS からの収集は、管理サーバからリモートコンピュータ＝ゲスト OS を操作して収集する機能を、Windows のタスクスケジューラから起動しますが、このタスクスケジューラの実行ユーザーは、アドミニストレータ権限に属するユーザーを指定する必要があります。）

例)

管理サーバのユーザー名：Administrator パスワード：password として例を記載します。

- ① 管理サーバでコマンドプロンプトを管理者権限で起動し、「インストールフォルダー¥setting」に移動



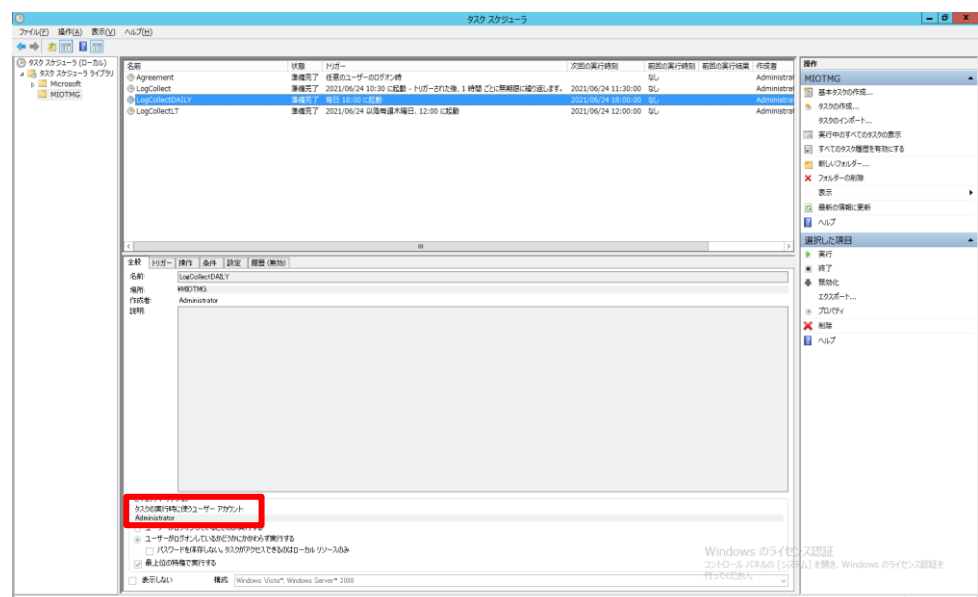
インストールフォルダーは、デフォルトから変更していない場合、「C:¥Program Files¥MIOTMG」 となります。

- ② ユーザー登録

setting > MIOT_REG_USER.exe /u Administrator /p password

- ③ 登録確認

登録情報の確認はタスクスケジューラの MIOTMG フォルダの「LogCollectDAILY」のタスクを選択し、タスクの実行時に使うユーザーアカウントが SYSTEM から登録したユーザー名に変更されていることを確認してください。





NEC ログ集約マネージャーの管理サーバユーザー登録コマンドの詳細は付録の「NEC ログ集約マネージャー管理サーバユーザー登録コマンド」を参照してください。

対象ホスト OS/ゲスト OS の認証情報登録

1. 対象ホスト OS の HW 構成情報、および対象ゲスト OS のリソース情報/SW 構成情報を収集する場合、NEC ログ集約マネージャー認証情報管理コマンドを使用し、対象ホスト OS および対象ゲスト OS にログインするための IP アドレス、認証情報の登録が必要です。

例)

対象ホスト OS、対象ゲスト OS の情報を以下として例を記載します。

- ・対象ホスト OS (VMware ESXi)
IP アドレス : 192.168.0.10 ユーザー名 : root パスワード : esxipass
- ・対象ゲスト OS (Windows。NEC ログ収集サービス for Guest OS をインストール)
IP アドレス : 192.168.0.30 ユーザー名 : Administrator パスワード : guestpass

- ① 管理サーバでコマンドプロンプトを管理者権限で起動し、「インストールフォルダー ¥setting」に移動



インストールフォルダーは、デフォルトから変更していない場合、「C:¥Program Files¥MIOTMG」となります。

- ② 認証情報登録

```
setting > MIOT_MNG_AUTH.exe /i 192.168.0.10 /u root /p esxipass /y  
setting > MIOT_MNG_AUTH.exe /i 192.168.0.30 /u Administrator /p guestpass /y
```

- ③ 登録確認

```
setting > MIOT_MNG_AUTH.exe /v  
IP Address      : "192.168.0.10"  
User            : "root"  
IP Address      : "192.168.0.30"  
User            : "Administrator"
```



NEC ログ集約マネージャー認証情報管理コマンドの詳細は付録の「NEC ログ集約マネージャー 認証情報管理コマンド」を参照してください。

サーバ診断カルテの注意事項、利用許諾などについて説明します。

1. 注意事項

サーバ診断カルテの注意すべき点を説明しています。

2. NEC ログ集約マネージャー 設定ファイル

NEC ログ集約マネージャーの設定ファイルについて説明しています。

3. NEC ログ集約通報サービス 管理コマンド

NEC ログ集約通報サービスの管理コマンドについて説明しています。

4. NEC ログ集約マネージャー 管理サーバユーザー登録コマンド

NEC ログ集約マネージャーの管理サーバユーザー登録コマンドについて説明しています。

5. NEC ログ集約マネージャー 認証情報管理コマンド

NEC ログ集約マネージャーの認証情報管理コマンドについて説明しています。

6. 利用許諾について

サーバ診断カルテの利用許諾について説明しています。

7. ログ収集タイミングの変更について

NEC ログ集約マネージャーのログ収集タイミングの変更について説明しています。

8. インストール時のエラーの対処

NEC ログ集約マネージャー、NEC ログ集約通報サービスのインストール時のエラーの対処を説明しています。

9. NEC ログ集約マネージャーのログ・メッセージ一覧

NEC ログ集約マネージャーのログ、メッセージおよび対処方法について説明しています。
ログ収集や通報で問題が起きている場合に参照してください。

1. 注意事項

■CLUSTERPRO 構成について

CLUSTERPRO 構成の場合は、現用系の HTTPS 通報定義ファイルを待機系にコピーして書き替えてください。

パス : %ESMPRO%\AlertMan\Work\WMGReprt、または、%EsmDir%\AlertMan\Work\WMGReprt
ファイル名 : MGHTPLOG.INF

例 : C:\Program Files\ESMPRO\AlertMan\Work\WMGReprt
C:\ESM\AlertMan\Work\WMGReprt

また、現用系で HTTPS 通報定義ファイルを編集した場合や、ESMPRO/ServerManager の WebGUI、またはエクスプレス通報サービス(MG)開局ツールの受信情報の設定画面で、受信情報を登録、または削除した場合は、都度、ファイルのコピーを実施してください。

待機系にコピーした HTTPS 通報定義ファイルの設定情報(パス)が正しいか確認し、環境に合わせて適宜、修正してください。

■SEL (System Event Log) について

ハードウェアログ情報としてイベントログ一覧に表示される SEL のセンサー名は 16 進数表示されます。

■IP アドレスについて

DHCP 環境での動作は保証しておりません。DHCP は使用せず、固定の IP アドレスを設定してご使用ください。

IPv6 には対応しておりません。

■通報時の CPU 使用率について

管理サーバの CPU スレッド数が少ない場合、通報時のデータ圧縮処理にて CPU 使用率が一時的に上昇する可能性があります。

■Windows Server 2022 / Windows 11 環境で利用する場合の制限について

サーバ診断カルテ(VMWare ESXi 上のゲスト OS 対応版)では、下記項目には対応しておりません。

- ① ソフトウェアログ情報
- ② 仮想マシン登録情報の下記項目
 - ・ 仮想マシン情報の累積稼働時間

■Intel VROC(Virtual RAID on CPU)について

サーバ診断カルテは Intel VROC(Virtual RAID on CPU) に対応しておりません。このため、Intel VROC で RAID を構成している場合、RAID 情報が表示されません。

2. NEC ログ集約マネージャー 設定ファイル

NEC ログ集約マネージャーは設定ファイルによって、ログ収集の設定を変更出来ます。

設定ファイルは、インストールフォルダーの watch.conf です。設定ファイルの変更が必要な場合は、

Administrator ユーザーでログインしてテキストエディタで編集してください。

設定した値が設定可能値な範囲外の場合、もしくはプロパティを削除した場合は既定値で動作します。

※本設定ファイルはサービス提供元から指定があった場合のみ変更します。

プロパティ	設定可能値	説明	既定値
start_collection	on,off	ログ収集の要否全体を指定	on
log_life_time	1-12	ローカルディスクへの通報後ログデータファイル保持期間を「箇月」で指定	4
log_save_max_size	100 以上	ローカルディスクへの通報後ログデータファイル保存最大容量を MB 単位で指定	4000
curr_life_time	1-12	ローカルディスクへの通報前ログデータファイル保持期間を「箇月」で指定	1
curr_save_max_size	100 以上	ローカルディスクへの通報前ログデータファイル保存最大容量を MB 単位で指定	3000
thread_count	1-5	ログ収集処理の多重度(スレッド数)を指定 ※デフォルトはプロパティ非表示です。変更する場合は「thread_count = 1」のようにプロパティ含めて記載してください。	5
res_diskspace	on,off	Disk の空き容量(使用量)の収集要否を指定	on
res_process	on,off	プロセスのリソース情報収集要否を指定	on
res_memory	on,off	メモリのリソース情報収集要否を指定	on
res_network	on,off	ネットワークポートのリソース情報の収集要否を指定	on
res_disk	on,off	ディスクのリソース情報の収集要否を指定	on
res_hw_log	on,off	HW ログの収集要否を指定	on
sensor_temperature	on,off	温度センサー情報の収集要否を指定	on
sensor_voltage	on,off	電圧センサー情報の収集要否を指定	on
sensor_fan	on,off	ファン回転数センサー情報の収集要否を指定	on
sensor_power	on,off	電力値センサー情報の収集要否を指定	on
sensor_current	on,off	電流センサーの収集要否を指定	on
config_system	on,off	システム HW 本体情報の収集要否を指定	on
config_device	on,off	システム HW 搭載デバイス情報の収集要否を指定	on
config RAID	on,off	RAID デバイス情報の収集要否を指定	on
collect_guest	on,off	ゲスト OS 情報の収集要否を指定	on
info_esxi_manage	on,off	ESXi ホスト情報の収集要否を指定	on
info_os	on,off	動作 OS 情報の収集要否を指定	on



管理サーバのスペックや管理対象サーバの管理数により、CPU 使用率が高負荷となる場合がございます。その場合は、thread_count の値を下げるにより CPU 使用率の負荷を下げるができます。

3. NEC ログ集約通報サービス 管理コマンド

インストールフォルダーの tool 配下に NEC ログ集約通報サービス管理コマンド(以降、管理コマンドと表記)を提供しています。



- ・ 管理コマンドを使用するには、エクスプレス通報サービス(MG) Ver3.4 以降が動作している必要があります。必ず、エクスプレス通報サービス(MG) Ver3.4 以降をインストールして、動作させてください。
- ・ 管理コマンドは Administrator 権限を持つユーザーで実行してください。
- ・ 管理コマンドは複数同時に使用することはできません。
- ・ 管理対象サーバの IP アドレスが変更された場合には、変更前の IP アドレスを削除し、変更後の IP アドレスを追加してください。

機 能

1. サービス(NEC Log Aggregation Reporting Service)の状態(開始／停止)の設定
2. サービス(NEC Log Aggregation Reporting Service)の状態、通報間隔の表示
3. 管理対象サーバの追加、削除

設 定

管理コマンドの使用方法は以下のとおりです。

miotmgst.exe [OPTION]

[OPTION] 指定

[OPTION] には以下のオプションを指定します。

オプション	説明																						
/v	<p>サービス(NEC Log Aggregation Reporting Service)の状態(Running／Stopped)、通報間隔を表示します。</p> <p>表示例) Service Status : Running ScheduleType : every week</p> <table><tr><th>項目</th><th>内容</th><th>意味</th></tr><tr><td colspan="3">-----</td></tr><tr><td rowspan="4">Service Status</td><td>Start Pending</td><td>保留中</td></tr><tr><td>Running</td><td>サービス開始中</td></tr><tr><td>Stop Pending</td><td>保留中</td></tr><tr><td>Stopped</td><td>サービス停止中</td></tr><tr><td rowspan="3">Schedule Type</td><td>every day</td><td>毎日</td></tr><tr><td>every week</td><td>毎週</td></tr><tr><td>every month</td><td>毎月</td></tr></table>	項目	内容	意味	-----			Service Status	Start Pending	保留中	Running	サービス開始中	Stop Pending	保留中	Stopped	サービス停止中	Schedule Type	every day	毎日	every week	毎週	every month	毎月
項目	内容	意味																					

Service Status	Start Pending	保留中																					
	Running	サービス開始中																					
	Stop Pending	保留中																					
	Stopped	サービス停止中																					
Schedule Type	every day	毎日																					
	every week	毎週																					
	every month	毎月																					
/s start stop	<p>サービス(NEC Log Aggregation Reporting Service)の起動・停止を設定します。</p> <p>Start : 起動 / stop : 停止</p> <p>表示例) Start service : Operation succeed. Stop service : Operation succeed.</p> <table><tr><th>項目</th><th>意味</th></tr><tr><td colspan="2">-----</td></tr><tr><td colspan="2">Start service : Operation succeed. サービスを開始しました。</td></tr><tr><td colspan="2">Stop service : Operation succeed. サービスを停止しました。</td></tr></table>	項目	意味	-----		Start service : Operation succeed. サービスを開始しました。		Stop service : Operation succeed. サービスを停止しました。															
項目	意味																						

Start service : Operation succeed. サービスを開始しました。																							
Stop service : Operation succeed. サービスを停止しました。																							
/l	<p>管理対象サーバをすべて表示します。</p> <p>表示例) Target Servers: 10.15.228.155 10.15.228.156</p> <table><tr><th>項目</th><th>内容</th></tr><tr><td colspan="2">-----</td></tr><tr><td colspan="2">Target Servers: 管理対象サーバの IP アドレス</td></tr></table>	項目	内容	-----		Target Servers: 管理対象サーバの IP アドレス																	
項目	内容																						

Target Servers: 管理対象サーバの IP アドレス																							
/add <IP>	<p>管理対象サーバを追加します。</p> <p>IP アドレスのフォーマット:XXX.XXX.XXX.XXX</p> <p>指定された IP アドレスが ESMPRO/ServerManager に登録済みのサーバであれば、対象に追加します。</p> <p>実行例) miotmgst.exe /add 10.15.228.155</p> <p>また、IP アドレスは範囲指定が可能です。</p> <p>IP アドレスの範囲 : XXX.* 、XXX.XXX.* 、XXX.XXX.XXX.* のいずれか。</p> <p>*:コマンド実行時点で指定範囲内、かつ、ESMPRO/ServerManager に登録済みのすべてのサーバを対象に追加します。</p> <p>実行例) miotmgst.exe /add 10.15.228.*</p> <p>管理対象サーバの追加に成功した場合の表示例)</p> <p>Add servers: 10.15.228.155 : succeed.</p>																						

オプション	説明
	10.15.228.111 : succeed.
/del <IP>	<p>管理対象サーバを削除します。 IP アドレスのフォーマット:XXX.XXX.XXX.XXX 指定された IP アドレスの管理対象サーバを削除します 実行例) miotmgst.exe /del 10.15.228.155 また、IP アドレスは範囲指定が可能です。 IP アドレスの範囲 : XXX.* 、XXX.XXX.* 、XXX.XXX.XXX.* のいずれか。 *:指定範囲内のすべての管理対象サーバを削除します。</p> <p>実行例) miotmgst.exe /del 10.15.228.*</p> <p>管理対象サーバの削除に成功した場合の表示例) Delete servers: 10.15.228.155 : succeed. 10.15.228.111 : succeed.</p>
/q <IP>	<p>管理対象サーバの次回エクスプレス通報予定時刻を表示します。 また、IP アドレスは範囲指定が可能です。 IP アドレスの範囲 : XXX.* 、XXX.XXX.* 、XXX.XXX.XXX.* のいずれか。 *:指定範囲内のすべての管理対象サーバを表示します。</p> <p>実行例) miotmgst.exe /q * 表示例) Next Report Time: 10.15.228.155 : 20181110 09:10 10.15.228.156 : 20181110 09:10 10.15.228.157 : 20181110 09:10 ※未開局の場合は語尾に"Unopend"を表示します。</p>

※その他の OPTION は、管理用のため通常使用しないでください。

サービス提供元から指定があった場合のみ使用します。

戻り値

管理コマンドの戻り値は以下のとおりです。

戻り値	説明
0	設定に成功しました。
1	設定に失敗しました。指定しているオプションの内容を確認してください。
2	設定に失敗しました。ログインしているユーザーにコマンドの実行権限がありません。

エラーメッセージ

管理コマンドのエラーメッセージは以下のとおりです。

	メッセージ	説明	戻り値
	%s: Set succeed.	指定した項目が設定成功、%s は項目名です。	0
	%s: Set failed.	指定した項目が設定失敗、%s は項目名です。	1
	%s: Set failed. Parameter is invalid.	オプションの引数が不正です。%s は項目名です。	1
/v	Service Status : Get failed. ScheduleType : %設定値%	サービス(NEC Log Aggregation Reporting Service)の状態取得に失敗しました。	1
/v	Service Status : %設定値% ScheduleType : Get failed.	通報間隔の取得に失敗しました。	1
/s	Start service: Operation failed.	サービス(NEC Log Aggregation Reporting Service)起動に失敗しました。	1
/s	Stop service: Operation failed.	サービス(NEC Log Aggregation Reporting Service)停止に失敗しました。	1
/l	Target Servers: Get failed.	管理対象サーバの取得に失敗しました。	1
/l	Target Servers: There is no Target server.	管理対象サーバが存在しません。	1
/add	Add Servers failed.	管理対象サーバの追加に失敗しました。	1
/add	Add Servers failed. There is no registered server.	ESMPRO/ServerManager に登録されているサーバが 1 つもありません。	1
/add	Add Servers failed. There is no registered server in this range.	IP アドレスの指定範囲内のサーバが ESMPRO/ServerManager に登録されていません。	1
/add	Add Servers failed. This server is not registered.	指定されたサーバが ESMPRO/ServerManager に登録されていません。	1
/del	Delete Servers failed.	管理対象サーバの削除に失敗しました。	1

4. NEC ログ集約マネージャー 管理サーバユーザー登録コマンド

インストールフォルダーの setting 配下に NEC ログ集約マネージャー 管理サーバユーザー登録コマンド(以降、管理サーバユーザー登録コマンドと表記)を提供しています。



- ・ 管理サーバユーザー登録コマンドは Administrator 権限を持つユーザーで実行してください。
- ・ 管理サーバユーザー登録コマンドは複数同時に使用することはできません。
- ・ 登録したユーザーのパスワードが変更された場合は再度、変更後のパスワードを指定して、管理サーバユーザー登録コマンドを実行してください。

機 能

1. ゲスト OS の収集を行う、Windows のタスクスケジューラの実行ユーザーの認証情報の登録、変更

設 定

認証情報管理コマンドの使用方法は以下のとおりです。

MIOT_REG_USER.exe [OPTION]

使用例)

MIOT_REG_USER.exe /u Administrator /p Gtv47XDb

[OPTION] 指定

[OPTION] には以下のオプションを指定します。

オプション	説明
/u	タスクスケジューラ登録に使用する Administratos グループのユーザー名を指定します。 /p と同時に指定してください。
/p	タスクスケジューラ登録に使用する Administratos グループのユーザー名のパスワードを指定します。 /u と同時に指定してください。
/?	ヘルプを表示します。

戻り値

管理サーバユーザー登録コマンドの戻り値は以下のとおりです。

戻り値	説明
0	設定に成功しました。
1	設定に失敗しました。指定しているオプションの内容を確認してください。
2	Administrator 権限なしユーザーで登録された場合。 Administrator 権限ありのユーザーで設定してください。
100	設定に失敗しました（更新時）。NEC ログ集約マネージャーがインストールされているか確認してください。ユーザー名、パスワードを確認してください。
101	設定に失敗しました（取得時）。NEC ログ集約マネージャーがインストールされているか確認してください。ユーザー名、パスワードを確認してください。
102	設定に失敗しました（登録時）。NEC ログ集約マネージャーがインストールされているか確認してください。ユーザー名、パスワードを確認してください。
200	設定に失敗しました。NEC ログ集約マネージャーがインストールされているか確認してください。または、システム管理者に連絡してください。

メッセージ

管理サーバユーザー登録コマンドのメッセージは以下のとおりです。

	メッセージ	説明	戻り値
/?以外	Invalid arguments. MIOT_REG_USER.exe [/?] /u <User> /p <Passwd>	オプションの引数が不正です。	1
/u /p	User and password updates (GuestOS collection) were successful.	正常に設定されました。	0
/u /p	GuestOS collection does not exist in Task Scheduler.	ゲスト収集タスク(LogCollectDAILY)が見つかりませんでした。NEC ログ集約マネージャーのインストール状態を確認してください。	100 101 102
/u /p	User and password updates (GuestOS collection) failed. Please enter a valid user and password."	入力されたユーザー名、またはパスワードが正しくありません。ユーザー名、パスワードを確認し、再度設定してください。	100 101 102
/u /p	The user name entered is not an administrators authorized user. Try again with the administrator permission username.	Administrator 権限でないユーザーが設定されました。Administrator 権限のユーザー名、パスワードを確認し、再度設定してください。	2

5. NEC ログ集約マネージャー 認証情報管理コマンド

インストールフォルダーの setting 配下に NEC ログ集約マネージャー認証情報管理コマンド(以降、認証情報管理コマンドと表記)を提供しています。



- ・ 認証情報管理コマンドは Administrator 権限を持つユーザーで実行してください。
- ・ 認証情報管理コマンドは複数同時に使用することはできません。
- ・ 認証情報管理コマンドで登録する認証情報は Administrator 権限を持つユーザーを登録してください。
- ・ ESXi ホストの認証情報は ESXi ホストの HW 構成情報、ゲスト OS の認証情報はゲスト OS のリソース情報、SW 構成情報を取得するのに使用します。認証情報が登録されない場合はこれらの情報が取得できません。
- ・ ゲスト OS の認証情報を登録する場合は、ESXi ホストの認証情報も必ず登録をしてください。
- ・ 認証情報管理コマンドで設定した情報は下記の認証情報格納ファイルに格納されます。
インストールフォルダー¥inf¥miotauth.txt
- ・ 認証情報管理対象サーバの IP アドレスが変更された場合には、変更前の IP アドレスを削除し、変更後の IP アドレスを追加してください。
- ・ 認証情報管理対象サーバのユーザー名、パスワードが変更された場合には、変更後のユーザー名、パスワードで変更してください。

機 能

1. 認証情報管理対象サーバの認証情報の追加、削除、変更
2. 認証情報管理対象サーバの登録認証情報の表示

設 定

認証情報管理コマンドの使用方法は以下のとおりです。

MIOT_MNG_AUTH.exe [OPTION]

[OPTION] 指定

[OPTION] には以下のオプションを指定します。

オプション	説明									
/v	<p>現在の管理情報を一覧表示します。</p> <p>表示例) IP Address : 192.168.10.10 User : huser01 IP Address : 192.168.10.20 User : tuser01</p> <table><thead><tr><th>項目</th><th>内容</th><th>意味</th></tr></thead><tbody><tr><td>IP Address</td><td>xxx.xxx.xxx.xxx</td><td>管理対象サーバの IP アドレス</td></tr><tr><td>User</td><td>文字列</td><td>管理対象サーバのユーザー</td></tr></tbody></table>	項目	内容	意味	IP Address	xxx.xxx.xxx.xxx	管理対象サーバの IP アドレス	User	文字列	管理対象サーバのユーザー
項目	内容	意味								
IP Address	xxx.xxx.xxx.xxx	管理対象サーバの IP アドレス								
User	文字列	管理対象サーバのユーザー								
/i	<p>管理対象サーバの IP アドレスを指定します。</p> <p>/u と /p を同時に指定した場合、設定が追加されます。すでに IP アドレスが設定済みの場合上書きとなります。</p> <p>/d と同時に指定した場合、設定が削除されます。</p> <p>IP アドレスのフォーマット:XXX.XXX.XXX.XXX</p>									
/u	<p>管理対象サーバのユーザーを追加、上書きします。</p> <p>/i、/p と同時に指定してください。</p> <p>設定したユーザーとパスワードで、IP アドレスの管理対象サーバに接続します。</p>									
/p	<p>管理対象サーバのユーザーパスワードを追加、上書きします。</p> <p>/i、/u と同時に指定してください。</p> <p>設定したユーザーとパスワードで、IP アドレスの管理対象サーバに接続します。</p> <p>パスワードは暗号化した上で認証情報格納ファイルに格納します。</p>									
/d	<p>管理対象サーバを削除します。</p> <p>/i で削除対象となるサーバの IP アドレスを指定します。</p>									
/y	<p>上書き、または削除の時の確認メッセージを表示せずに「y」応答があったものとして処理します。</p>									
/?	<p>ヘルプを表示します。</p>									

戻り値

管理コマンドの戻り値は以下のとおりです。

戻り値	説明
0	設定に成功しました。
1	設定に失敗しました。指定しているオプションの内容を確認してください。
10	設定に失敗しました。環境変数 MIOT_WATCH_PATH_MG がないか、設定値が正しくありません。再インストールを行ってください。
11	設定に失敗しました。コマンドが同時に実行された可能性があります。再実行してください。
100	設定に失敗しました。認証情報格納ファイルが壊れています。削除してから再登録してください。
101	設定に失敗しました。認証情報格納ファイルに書き込めません。削除してから再登録してください。

102	設定に失敗しました。認証情報格納ファイルが空か、指定 IP アドレスがありません。
103	設定に失敗しました。認証情報格納ファイルの設定項目のいずれかが欠けています。削除してから再登録してください。
200	設定に失敗しました。予期せぬエラーが発生しました。再インストールを行ってください。

メッセージ

認証情報管理コマンドのメッセージは以下のとおりです。

	メッセージ	説明	戻り値
/?以外	MIOT_MNG_AUTH.exe [/?] [/v] [/i <IP> [/u <User> /p <Passwd>] [/y] [/d]]	オプションの引数が不正です。	1
	Invalid environment variable(MIOT_WATCH_PATH_ MG)	環境変数 MIOT_WATCH_PATH_MG が設定 されていないか、設定値がフォルダーでない など不正な値です。	10
	Failed to exclude to Authentication Information File.	認証情報格納ファイルの排他に失敗しまし た。	11
	Failed to analyze Authentication Information File. : %エラー詳 細%	認証情報格納ファイルの読み込みか解析に失 敗しました。	100
	Failed to output data.	認証情報格納ファイルの書き込みに失敗しま した。	101
/v	Authentication Information File is empty.	表示する情報がありません。	0
/d	Delete Authentication Information of IP address(%IP アドレス%). Are you sure (y/n)?	削除してよいかの確認です。 削除してよい場合は「y」を削除しない場合 は「n」を応答してください。	-
/d	No IP address(%IP アドレス%) was found.	削除指定された IP アドレスがありません。 正しい IP アドレスで再実行してください。	102
/i /u /p	Overwrite Authentication Information of IP address(%IP アドレス%). Are you sure (y/n)?	上書きしてよいかの確認です。 上書きしてよい場合は「y」を上書きしない 場合は「n」を応答してください。	-
/p	Failed to encrypt a password.	パスワードの暗号化に失敗しました。	200
	Authentication Information File has invalid contents.	認証情報格納ファイルの設定項目のいずれか が欠けています。	103

6. 利用許諾について

サーバ診断カルテを使用するには、本プログラムの利用規約に同意する必要があります。
エクスプレス通報サービス(MG)を開局状態で、かつ一度も本利用規約に同意の選択をされていない場合は OS ログイン時に本許諾画面が自動的に開きます。

本章では、サーバ診断カルテのインストールの際に「後で確認します」を選択してインストールした場合に、後から利用規約に同意し、サーバ診断カルテを利用する方法について説明します。

なお、同意に関する設定を変更する場合は、スタートメニューから本許諾画面を起動し、「同意しない」を選択してください。サーバ診断カルテに必要なログの採取と NEC へのログの送信が停止します。

1. スタートメニューから「サーバ診断カルテ」をクリックします。
2. サーバ診断カルテの利用許諾のウィンドウに記載の利用規約を最後までお読みいただき、同意いただける場合は「利用規約に同意したうえで利用を開始する」をクリックします。

利用規約
サーバ診断カルテ利用規約
ExpressSupportPack G4をご購入頂いている場合、またはハードウェアメンテナンスサービスをご契約頂いている場合、サーバ診断カルテサービスをご利用頂けます。
サーバ診断カルテサービスのご利用にあたっては下記の利用規約への同意が必要になります。
本書は、日本電気株式会社(以下、「NEC」といいます。)が提供するサーバ診断カルテサービス(以下、「本サービス」といいます。)の条件、収集情報の取り扱い等について記載します。お客様は、本サービスを利用するには、本書に同意する必要があります。
第1条 (本サービスの内容)
本サービスは、Express5800シリーズ製品(以下、「対象機器」といいます。)のハードウェアやOS(WindowsまたはVMWare ESXi)の稼働状況を記録し、月毎に稼働状態に応じた「サーバ診断カルテ」を提供します。
(1) 提供内容
お客様の対象機器の基本構成情報および第7条に提示する収集情報(ハードウェアセンサ情報、リソース情報、ゲストOS情報等)をグラフや一覧表で表示し、稼働状況を可視化した情報「サーバ診断カルテ」を提供します。本サービスの内容は、予告なしに変更される場合があります。
(2) 提供時期および提供方法
サーバ診断カルテは毎月1回提供します。当月分のサーバ診断カルテは、翌月15日迄にNECサポートポータルに掲載する方法にて提供します。
第2条 (本サービスの条件)
本サービスの利用は、対象機器が次の条件を満たす必要があります。
(1) NECが下記Webサイトで指定するExpress5800シリーズの機種であること
サーバ診断カルテについては以下を参照してください
<https://jpn.nec.com/pcserver/supportpack/karte/index.html>
後で確認する 同意しない 利用規約に同意した上で利用を開始する



利用規約に同意するためには、あらかじめ、管理対象サーバに対して NEC ログ集約通報サービス 管理コマンドによる登録とエクスプレス通報サービス(MG)による通報手段の有効化が必要です。

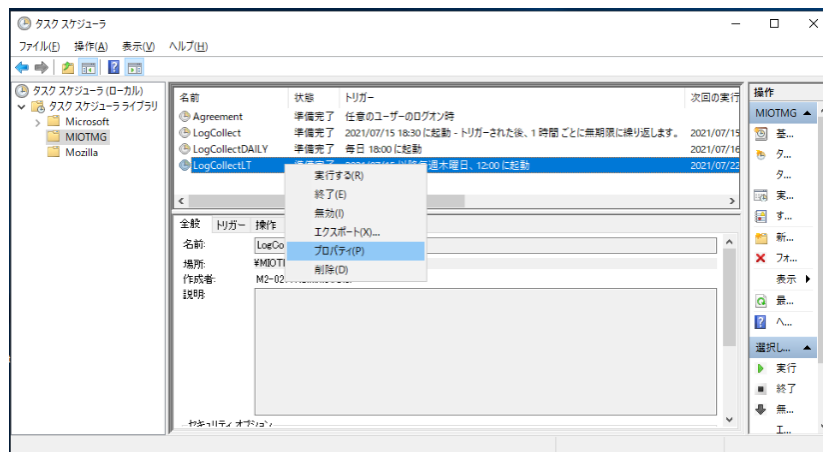
7. ログ収集タイミングの変更について

タスクスケジューラに登録されている NEC ログ集約マネージャーの設定（MIOTMG）のうち、LogCollectLT は、毎週木曜日の 12:00 に起動するように設定されています。また、LogCollectDAILY は、毎日 18:00 に起動するように設定されています。

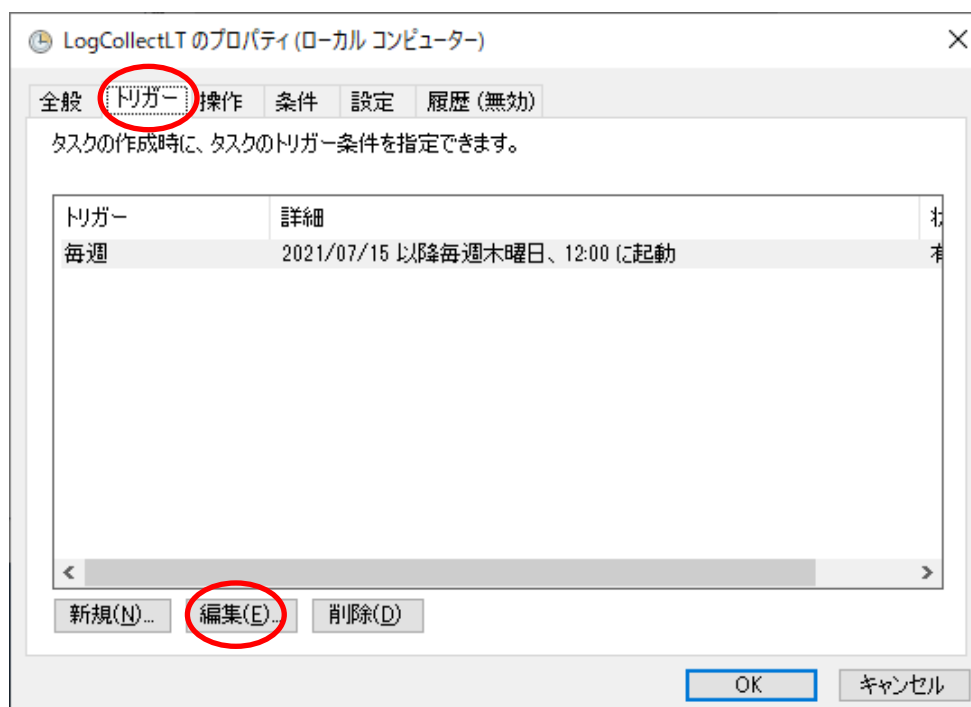
システムの運用状況に応じて、起動曜日、時刻を以下の手順で変更してください。

【LogCollectLT の変更手順】

1. タスクスケジューラ画面の LogCollectLT を選択し、右クリックで表示されるメニューから「プロパティ(P)」を選択します。



2. LogCollectLT のプロパティダイアログの「トリガー」タブを選択します。
3. 設定されている「毎週」のトリガーを選択し、「編集(E)」ボタンをクリックします。



4. 表示されたトリガーの編集ダイアログの「設定」フィールドの「開始(S)」の時刻、または「週間ごとの次の曜日」の曜日の設定を変更します。（それ以外の項目は変更しないでください。）

トリガーの編集

タスクの開始(G): スケジュールに従う

設定

☐ 1回(N) ☐ 毎日(D) ☒ 毎週(W) ☐ 毎月(M)

開始(S): 2021/07/15 12:00:00 タイムゾーン間で同期(Z)

間隔(C): 1 週間ごとの次の曜日:

☐ 日曜日(U) ☐ 月曜日(A) ☐ 火曜日(T) ☐ 水曜日(Y)

☒ 木曜日(H) ☐ 金曜日(F) ☐ 土曜日(B)

詳細設定

☐ 遅延時間を指定する(ランダム)(K): 1 時間

☐ 繰り返し間隔(P): 1 時間 継続時間(E): 1 日間

☐ 繰り返し継続時間の最後に実行中のすべてのタスクを停止する(I)

☐ 停止するまでの時間(L): 3 日間

☐ 有効期限(X): 2022/08/02 20:16:48 タイムゾーン間で同期(E)

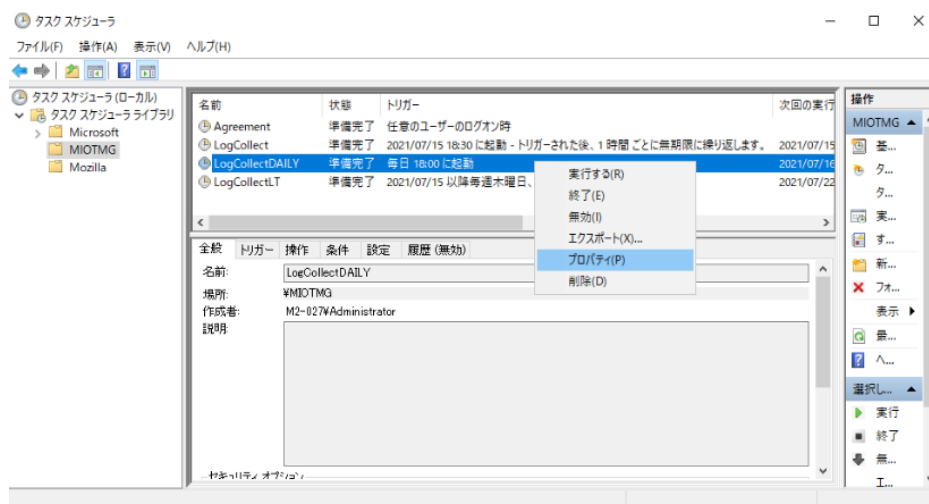
☒ 有効(B)

OK キャンセル

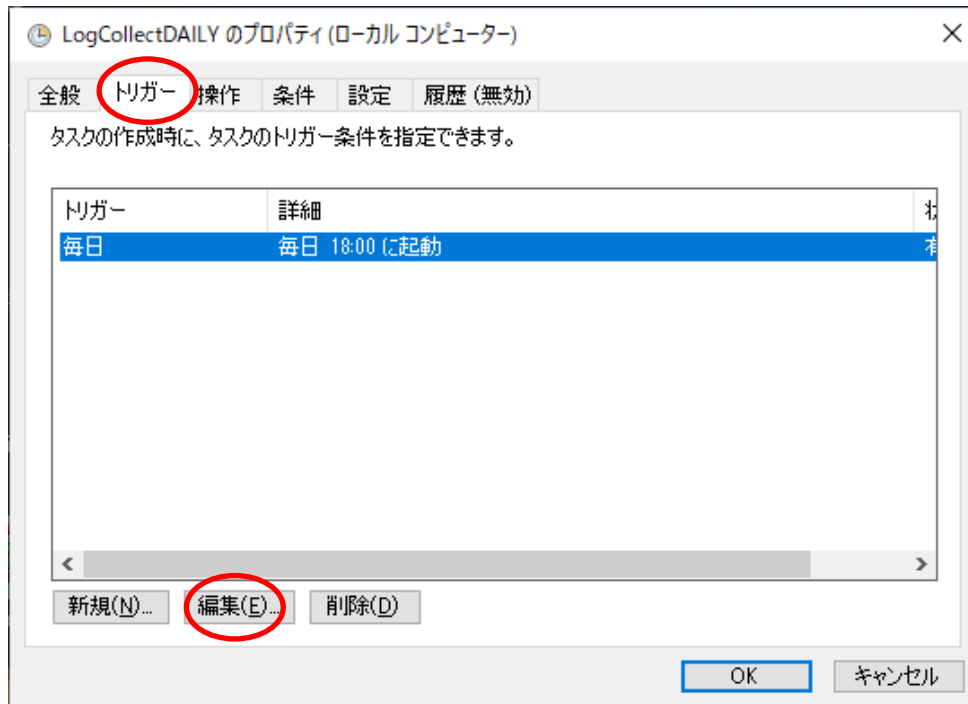
5. 「OK」ボタンをクリックしてトリガーの編集ダイアログを閉じてください。
6. 「OK」ボタンをクリックして LogCollectLT のプロパティダイアログを閉じてください。
7. タスクスケジューラ画面の LogCollectLT が変更した曜日、または時刻に起動するように設定されていることを確認してください。

【LogCollectDAILY の変更手順】

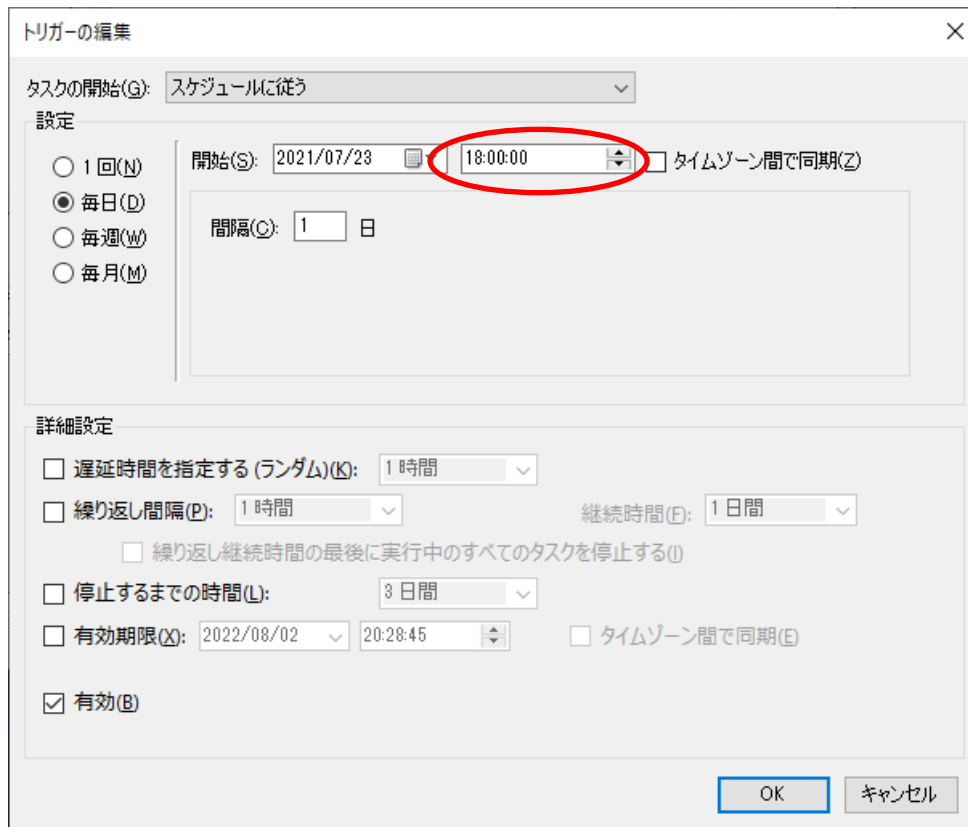
1. タスクスケジューラ画面の LogCollectDAILY を選択し、右クリックで表示されるメニューから「プロパティ(P)」を選択します。



2. LogCollectDAILY のプロパティダイアログの「トリガー」タブを選択します。
3. 設定されている「毎日」のトリガーを選択し、「編集(E)」ボタンをクリックします。



4. 表示されたトリガーの編集ダイアログの「設定」フィールドの「開始(S)」の時刻の設定を変更します。「HH:00」となるように設定してください。(それ以外の項目は変更しないでください。)



5. 「OK」ボタンをクリックしてトリガーの編集ダイアログを閉じてください。
6. 「OK」ボタンをクリックして LogCollectDAILY のプロパティダイアログを閉じてください。
7. タスクスケジューラ画面の LogCollectDAILY が変更した時刻に起動するように設定されていることを確認してください。



Agreement、LogCollect の設定は変更しないでください。

LogCollectLT の設定は、時刻、曜日以外は変更しないでください。

LogCollectDAILY の設定は、時刻以外は変更しないでください。時刻の分設定は「HH : 00」になるようにしてください。

変更した場合、サーバ診断カルテが正しく作成されなくなります。



設定変更により各タスクの開始時刻が重複する場合、システムが高負荷となる可能性がございます。

システムの運用状況によって設定を調整してください。

8. インストール時のエラーの対処

NEC ログ集約マネージャー、NEC ログ集約通報サービスのインストール時にエラーが発生した場合の対処方法を示します。エラーが発生した場合は、以下の手順に従ってください。

エラーメッセージ一覧

- セットアップは管理者権限で実行してください。
管理者権限がない場合のエラーです。管理者でログインし直して再度実行してください。
- .NET Framework がインストールされていません。サーバ診断カルテが動作するためには .NET Framework 4.0 以上が必要です
.NET Framework がインストールされていないか、バージョン 4.0 未満ということを示します。
.NET Framework のインストールを確認してください。
- ESMPRO/ServerManager がインストールされていません。サーバ診断カルテが動作するためには ESMPRO/ServerManager Ver.6.47 以上が必要です
ESMPRO/ServerManager がインストールされていないまたはバージョンが 6.47 未満ということを示します。ESMPRO/ServerManager のインストールを確認してください。
- NEC ログ集約通報サービスのセットアップに失敗しました。 エラーコード：XXXX
NEC ログ集約通報サービスのインストールに失敗したことを示します。NEC ログ集約通報サービスインストール時エラーコード一覧を参照してください。

NEC ログ集約通報サービスインストール時エラーコード一覧

- セットアップは管理者権限で実行してください。
管理者権限がない場合のエラーです。管理者でログインし直して再度実行してください。

エラーコード	意味	対処
1003	エクスプレス通報サービス(MG)がインストールされていない、または、エクスプレス通報サービス(MG) Ver3.4 未満がインストールされています。	エクスプレス通報サービス(MG) Ver3.4 以上をインストールしてください。
1004	不正な引数で実行されています。	サポートセンターに連絡してください。
1005	関連サービスの停止に失敗しました。	Alert Manager Main Service サービスを停止してからインストールを実行してください。
1001	内部エラーが発生しました。	サポートセンターに連絡してください。

エラー発生時の対処

- エラー要因を排除後、インストーラを再実行してください。その場合、いったんアンインストールを要求された際は、アンインストール後に再実行してください。

9. NEC ログ集約マネージャーのログ・メッセージ一覧

NEC ログ集約マネージャーの実行ログは「インストールフォルダー¥log」に格納されており、ファイル名は以下となります。ログ収集や通報で問題が起きている場合に参照してください。

- MIOT-GUEST-WATCH-EXEC.log
- MIOT-LT-WATCH-EXEC-P.log
- MIOT-LT-WATCH-EXEC-R.log
- MIOT-WATCH-EXEC.log
- MIOT-WATCH-EXEC2.log
- MIOT-GATHER-EXEC.log

メッセージ一覧

- ログ収集が動作したタイミングで、以下のメッセージが出力されることがあります。必要に応じて対処を行ってください。

メッセージ	意味	対処
INFO Log collect don't agreed.	利用規約に同意していません。	付録の「利用許諾について」を参照し、利用規約に同意してください。 ※管理サーバ、ゲスト OS にてそれぞれ利用規約が存在しますのでどちらも同意してください。
WARN No IPadress is registered!!	管理対象サーバが登録されていません。	付録の「NEC ログ集約通報サービス 管理コマンド」を参照し、管理対象サーバの登録を実施してください。
ERROR ifstream fail() occurred. file: inf¥miotauth.txt	認証情報管理対象サーバが登録されていません。	付録の「NEC ログ集約マネージャー 認証情報管理コマンド」を参照し、認証情報管理対象サーバを登録してください。
ERROR auth_list is empty or null.	認証情報管理対象サーバが登録されていません。	付録の「NEC ログ集約マネージャー 認証情報管理コマンド」を参照し、認証情報管理対象サーバを登録してください。
WARN func: excludeEsxiIpAddr ipAddr = <IP アドレス> not exist auth file.	登録した認証情報管理対象サーバ (ESXi ホスト) の IP アドレスに誤りがあります。	付録の「NEC ログ集約マネージャー 認証情報管理コマンド」を参照し、ESXi ホストの認証情報を確認し、再度登録してください。
ERROR func: collectLogPowerCLI checkPowerShellErr() error!!	登録した認証情報管理対象サーバ (ESXi ホスト) のユーザー名またはパスワードに誤りがあります。	付録の「NEC ログ集約マネージャー 認証情報管理コマンド」を参照し、ESXi ホストの認証情報を確認し、再度登録してください。
INFO func: collectLogPowerShell The credentials did not have a guest OS IP address.	登録した認証情報管理対象サーバ (ESXi ホスト) 上に存在するゲスト OS の IP アドレスが認証情報管理対象サーバとして登録されていません。	付録の「NEC ログ集約マネージャー 認証情報管理コマンド」を参照し、ゲスト OS の認証情報を登録してください。
ERROR func: rmtGetAgreement	登録した認証情報管理対象サーバ (ゲスト OS) のユー	付録の「NEC ログ集約マネージャー 認証情報管理コマンド」を参照し、ゲスト OS の認証情

メッセージ	意味	対処
checkPowerShellErr() error!! strCmdResult: [<IP アドレス>] リモート サー バー <IP アドレス> へ の接続に失敗し、次のエ ラー メッセージが返さ れました: アクセスが拒 否されました。	ユーザー名またはパスワードに 誤りがあります。	報を確認し、再度登録してください。
ERROR func: rmtGetAgreement checkPowerShellErr() error!! strCmdResult: [<IP アドレス>] リモート サー バー <IP アドレス> へ の接続に失敗し、次のエ ラー メッセージが返さ れました: WinRM は処理 を完了できません。	ゲスト OS の WinRM のファ イアウォールの例外設定が されていないため、ゲスト OS のログが取得できません でした。	サーバ診断カルテ セットアップガイド (GuestOS 編)の「インストール前準備【WinRM (Windows Remote Management)の設定】」を参 照し、WinRM の設定を実施してください。

サーバ診断カルテ
セットアップガイド
(VMware ESXi 編)

日 本 電 気 株 式 会 社
東京都港区芝五丁目 7 番 1 号
TEL (03) 3454-1111 (大代表)

2024 年 11 月

©NEC Corporation 2018-2024

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。